Pioneer

コンパクトディスクレコーダー/
マルチＣＤチェンジャー

PDR-WD70

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、本書および別冊の「安全上のご注意」は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」および「安全上のご注意」は、「保証書」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意 付属の「安全上のご注意」もお読みください

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

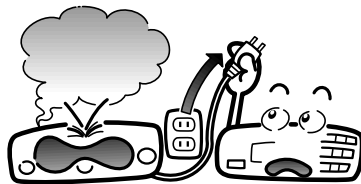
⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

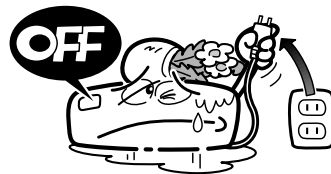
●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

〔異常時の処置〕

プラグを抜け

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜け

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜け

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

お使いになる前に

ディスクの入れかた・取り出しかた

CDを簡単に録音する

CDを聞く

いろいろな録音のしかた

録音したあとにできること

いろいろな演奏のしかた

外部機器と接続して録音する

知ってると便利な録音のしかた

付録

特長

1. ワンタッチ録音

- 「START」ボタンを押すだけで、1 枚目のディスクを 2 倍速でまるごと録音する機能です。

2. REC THIS

- 今聴いている曲を「START」ボタンを押すだけで、自動的に曲の頭から録音を開始する機能です。

3. 簡単で多彩な録音モードを装備

- ディスク録音：CD の全曲をまるごと CD-R(CD-RW)へ録音します。
- 1 トラック録音：3 枚の CD の中から 1 曲だけを CD-R(CD-RW)へ録音します。
- レンタル録音：各 CD の 1 曲目だけを CD-R(CD-RW)へ録音します。
- プログラム録音：3 枚の CD をプログラムして CD-R(CD-RW)へ録音します。

4. CD テキストに対応したネーム入力機能を装備

- CD-R ディスクや CD-RW ディスクに、ディスクネーム、アーティストネーム、トラックネームの 3 種類の名前をつけられます。もちろん市販の CD テキストディスクの表示にも対応しています。

5. デジタル録音ボリューム & バランスを装備

- 3 枚の CD からデジタル録音、または外部機器からのデジタル録音時、音量とバランスの調整を可能にしました。

6. 高音質設計

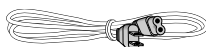
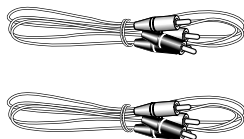
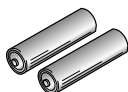
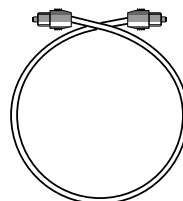
- レガートリンクコンバーション方式の D/A コンバータ採用により、再生周波数の広帯域化を実現し、CD フォーマットの枠を越えたよりいっそう原音に近い音楽再生を可能にしています。その他、1 ビット A/D コンバーター・ストラテジーコントロールなど高音質録音技術も満載しています。
- サンプリングレートコンバーター搭載によって、BS、CS、DAT など 32 kHz、48 kHz サンプリング周波数のデジタル機器から録音することができます。さらに、サンプリング周波数が 44,1kHz の時は、サンプリングレートコンバーターがバイパスされるため、HDCD や DTS CD を録音することができます。*

＊ HDCD や DTS CD は、デジタル録音レベルが 0.0dB 以外に設定されている場合は、正しく録音できません。

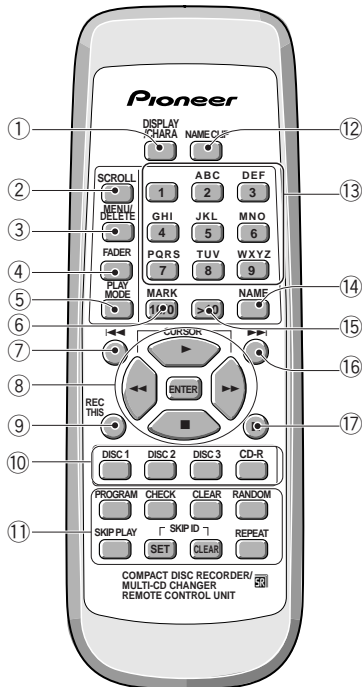
あなたが録音したものは、個人として楽むなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
お問合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会　　　電話 03 - 5353 - 0336

付属品の確認

- リモートコントロールユニット（リモコン）×1

- 電源コード×1

- オーディオコード×2

- 単3形乾電池×2（AA/R6P）

- 光デジタルケーブル×1

- 保証書
- ご相談窓口・修理窓口のご案内
- 取扱説明書（本書）
- CD-R操作入門編
- 安全上のご注意

各部のなまえ

リモコン

① **DISPLAY/CHARA ボタン**
DISPLAY:ディスプレイ表示を換えるときに押します(**P.45**)。
CHARA:ディスクに名前を入力するときに、文字の種類を切り換えます(**P.32** メモ)。

② **SCROLL ボタン**
ディスクに入力した名前をスクロールさせたいときに押します(**P.46** メモ)。

③ **メニュー / デリートボタン(MENU/DELETE)**
MENU:MENU モードにするときに押します。MENU モードで操作するのは、ヘッドホンレベルの設定(**P.13**)、録音バランスを調整する(**P.29**)、フェードイン / フェードアウトの時間設定(**P.44**)、曲番号を自動更新するレベルを調整する(**P.54**)、曲番号の更新を自動 / 手動に切り換える(**P.55**)、一定の時間ごとに曲番号をつける(**P.56**)です。
DELETE:ディスクに名前を入力していて、文字を削除するときに押します(**P.33**)。

④ **フェーダーボタン(FADER)**
フェーダー演奏、またはフェーダー録音するときに押します(**P.44, 53**)。

⑤ **演奏モードボタン(PLAY MODE)**
演奏モードを切り換えるときに押します(**P.19, 20**)。

⑥ **10/0 /MARK ボタン**
10/0:数字ボタンで 10 または 0 を選択するときに押します。

MARK:記号(キャラクター文字)を入力するときに押します(**P.32**)。

⑦ **|◄◄ ボタン**
曲の戻り方向への頭出しをするときに押します(**P.21**)。

⑧ **►/■/◄◄/►►/ENTER ボタン**
► ボタンは演奏を開始するときに、■ ボタンは演奏を停止するときに押します。◄◄/►► ボタンは曲の早戻し、または早送りをするときに押します(**P.21**)。**ENTER** ボタンは設定を決定するときに押します。

⑨ **録音開始ボタン(REC THIS)**
演奏中のCDをCD-R、またはCD-RWに録音するときに押します(**P.25**)。

⑩ **ディスク 1/2/3 ボタン(DISC 1/2/3)**
ディスク 1、ディスク 2、ディスク 3 に入れたCD を選択、または演奏するときに押します。

CD-R ボタン
CD-R に入れたディスクを演奏するときに押します。

⑪ **プログラムボタン(PROGRAM)**
プログラムを設定するときに押します(**P.26-27, 42-43**)。

チェックボタン(CHECK)
録音する曲を確認するときに押します(**P.28**)。また、プログラムした内容を確認するときに押します(**P.43**)。

クリアボタン(CLEAR)
プログラムした最後の曲を削除するときに押します。

ランダムボタン(RANDOM)
ランダム演奏するときに押します(**P.40**)。

スキッププレイ切り換えボタン(SKIP PLAY)
スキップ演奏を ON または OFF に切り換えるときに押します(**P.41**)。

スキップ ID セットボタン(SKIP ID SET)
スキップ情報を指定するときに押します(**P.36**)。

スキップ ID クリアボタン(SKIP ID CLEAR)
スキップ情報を解除するときに押します(**P.37**)。

リピートボタン(REPEAT)
リピート演奏するときに押します(**P.40**)。

⑫ **ネームクリップボタン(NAME CLIP)**
よくつかう名前を記憶、コピーするときに押します(**P.34**)。

⑬ **数字ボタン(P.21, 26, 32,42-43)**

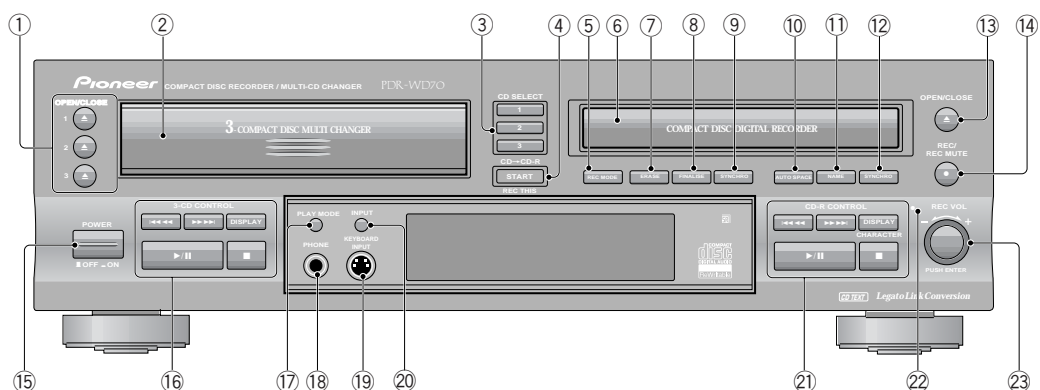
⑭ **ネームボタン(NAME)**
ディスクに名前を入力するときに押します(**P.31-34**)。

⑮ **>10 ボタン**
11 以上の数字を選択するときに押します。

⑯ **►►| ボタン**
曲の送り方向への頭出しをするときに押します(**P.21**)。

⑰ **II**
演奏または録音を一時停止するときや解除するときに押します(**P.53**)。

各部のなまえ

本体部

① **ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLESE ⏏ 1/2/3)**
3 枚 CD チェンジャーのディスクトレイを開閉するときに押します(**P.16**)。

② **3 枚 CD チェンジャーディスクトレイ**

③ **CD 選択ボタン(CD SELECT 1/2/3)**
ディスク 1、ディスク 2、ディスク 3 に入れたディスクを選択、または演奏するときに押します。

④ **録音開始ボタン(START [CD→CD-R/ REC THIS])**
CD→CD-R:CD を CD-R、または CD-RW に録音するときに押します(**P.18, 22-24, 26, 27**)。
REC THIS:演奏中の CD を CD-R、または CD-RW に録音するときに押します(**P.25**)。

⑤ **録音モードボタン(REC MODE)**
CDからCD-R、またはCD-RWへの録音方法の種類を選ぶときに押します(**P.22-24, 26 ,27**)。

⑥ **CD レコーダーディスクトレイ**

⑦ **消去ボタン(ERASE)**
CD-RW に記録した内容を消去するときに押します(**P.38-39**)。

⑧ **ファイナライズボタン(FINARIZE)**
ファイナライズするときに押します(**P.30,35**)。

⑨ **シンクロボタン(SYNCHRO)**
シンクロ録音をするときに押します(**P.49-51**)。

⑩ **オートスペースボタン(AUTO SPACE)**
3 枚 CD チェンジャーからの録音でオートスペース機能をオンにするときに押します(**P.24 メモ**)。

⑪ **ネームボタン(NAME)**
ディスクに名前を入力するときに押します(**P.31-34**)。

⑫ **メニュー / デリートボタン(MENU/DELETE)**
MENU:MENU モードにするときに押します。MENU モードで操作するのは、ヘッドホンレベルの設定(**P.13**)、録音バランスを調整する(**P.29**)、フェードイン / フェードアウトの時間設定(**P.44**)、曲番号を自動更新するレベルを調整する(**P.54**)、曲番号の更新を自動 / 手動に切り換える(**P.55**)、一定の時間ごとに曲番号をつける(**P.56**)です。
DELETE:ディスクに名前を入力していて、文字を削除するときに押します(**P.33**)。

⑬ **ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLESE ⏏)**
CD レコーダーのディスクトレイを開閉するときに押します(**P.17**)。

⑭ **録音/録音ミュートボタン(REC/REC MUTE ●)**
録音するときや、曲の終わりに 4 秒間の無音部分をつくるときに押します。(**P.52, 53**)。

⑮ **電源ボタン(POWER)**
電源をオン / オフするときに押します。

⑯ **3-CD コントロールボタン(3-CD CONTROL)**
3 枚 CD チャンジャーの基本的な操作をするときに使います。

⏮◀◀◀	：曲の頭出し、または曲の早戻しをするときに押します(**P.21 メモ**)。
▶▶▶⏭	：曲の頭出し、または曲の早送りをするときに押します(**P.21 メモ**)。
DISPLAY	：表示部を切り換えるときに押します(**P.45-46**)。
▶/❚❚	：演奏を開始するときや、一時停止するときに押します。
■	：演奏を停止するときに押します。

⑰ **演奏モードボタン(PLAY MODE)**
演奏モードを切り換えるときに押します(**P.19, 20**)。

⑱ **ヘッドホン端子(PHONES)**
ヘッドホンを接続します(**P.13**)。

⑲ **キーボード入力端子(KEYBOARD INPUT)**
キーボードを接続します(**P.13**)。

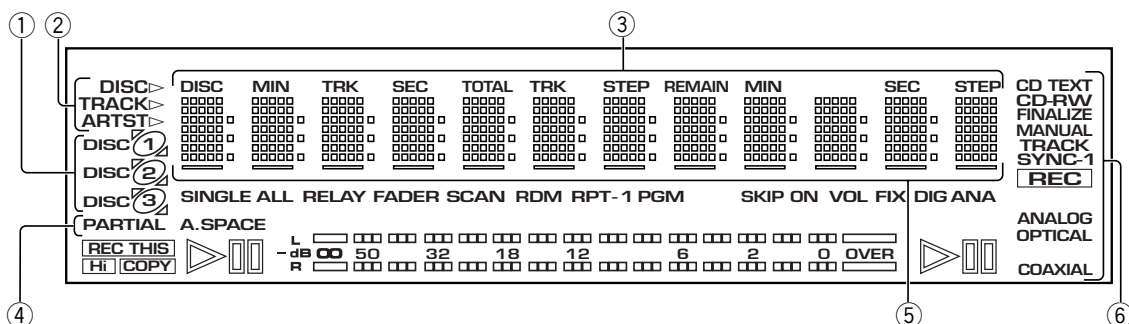
各部のなまえ

⑳ **入力切換ボタン(INPUT)**
音声信号の入力を切り換えるときに押します(**P.47, 48, 50-52**)。

㉑ **CD-Rコントロールボタン(CD-R CONTROL)**
⏮◀◀◀◀ ：曲の頭出し、または曲の早戻しをするときに押します(**P.21** メモ)。
▶▶▶▶⏭ ：曲の頭出し、または曲の早送りをするときに押します(**P.21** メモ)。
DISPLAY/CHARACTER
DISPLAY：表示部を切り換えるときに押します(**P.45-46**)。
CHARACTER：ディスクに名前を入力するとき、文字の種類を切り換えるときに押します(**P.32** メモ)。
▶/❚❚ ：演奏または録音を開始するときや、一時停止するときに押します。
■ ：演奏、または録音を停止するときに押します。

㉒ **録音ボリュームインジケーター**
録音レベルが可変できない状態のときに点灯します(**P.28**)。

㉓ **録音ボリュームつまみ(REC VOL –/+)/ジョグダイヤル**
録音レベルを調整するときに使います(**P.28-29, 48**)。MENU モード、NAME モードでは選択するジョグダイアルとして、また停止中や再生中は曲の頭出しとしても使います。

表示部

① **DISC1/2/3**
3 枚 CD チェンジャーの状態を表わします。CD がディスクトレイに入っているときは、ディスク情報の読み込みが終了した後、ディスク番号と◸◿が点灯します。CDが入っていないときはディスク番号が消灯します。ディスク情報の読み込みが終了していないときは、ディスク番号のみ点灯します。

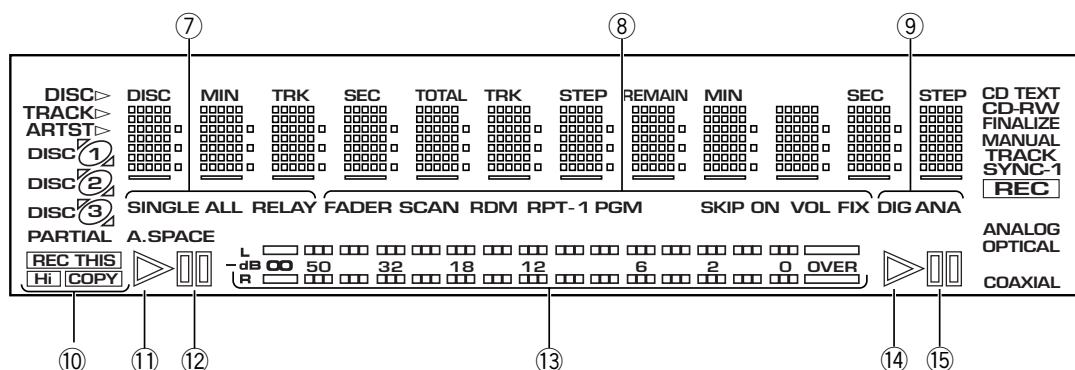
② **DISK/TRACK/ARTIST**
ディスクに入力した名前を表示しているときに点灯します。
DISC:ディスクの名前
TRACK:曲の名前
ARTIST:アーティストの名前

③ **DISC/MIN/TRK/SEC/TOTAL/TRK/STEP/REMAIN/MIN/SEC/STEP**
時間表示の種類によってそれぞれが点灯します。

④ **PARTIAL/A.SPACE**
PARTIAL:3 枚 CD チェンジャーにファイナライズしていない CD-R、または CD-RW を入れたとき点灯します。
A.SPACE:オートスペース機能がオンに設定されているときに点灯します(**P.24**)。

⑤ **文字／数字表示**
文字や数字でいろいろな情報を表示します。

⑥ **CD レコーダーファンクションインジケーター**
CD TEXT:CD テキストの入力されたディスクを本機が読み取ると点灯します。
CD-RW:ディスクの種類を判別しているとき点滅します。判別が終わると下記のように点灯します(**P.17**)。
- CD、またはファイナライズしてあるCD-Rを入れたとき →"**CD**" が点灯
- ファイナライズをする前の CD-R を入れたとき →"**CD-R**" が点灯
- CD-RW を入れたとき →"**CD-RW**" が点灯
(ファイナライズしてある CD-RW を入れたときは "**FINALIZE**"インジケーターも同時に点灯します。)

FINALIZE:ファイナライズしてある CD-RW を入れると点灯します。また、自動ファイナライズシンクロ録音時に点滅します。
MANUAL TRACK/TRACK:
MANUAL TRACK:曲番号の手動更新が設定されているときに点灯します(**P.55**)。
TRACK:タイムトラックインクリメント機能(**P.56**)が働いているときや、曲番号が自動更新するか確認しているときにいるときに点滅します(**P.55**)。
SYNC/SYNC-1:外部接続した機器とシンクロ録音しているときに点灯します。
REC:録音しているとき、または録音を一時停止しているときに点灯し、録音ミュート動作中に点滅します。
ANALOG/OPTICAL/COAXIAL:音声信号の入力を表示します。

⑦ **SINGLE/ALL/RELAY**
選択している演奏モード(**P.19-20**)にしたがって点灯します。

⑧ **FADER**
フェード演奏、またはフェード録音しているとき点滅します(**P.44, 53**)。

SCAN
3 枚 CD チェンジャーから録音する曲を確認しているとき点滅します(**P.28**)。

RDM
ランダム演奏をしているとき点灯します(**P.40**)。

RPT-1
全曲リピート演奏のときは"RPT"と点灯します。1 曲リピート演奏のときは "RPT-1" と点灯します **(P.40)**。

PGM
プログラムの設定、またはプログラム演奏しているときに点灯します(**P.26-27, 42-43**)。

SKIP ON(P.36-37)
スキップ演奏が ON のときに "**SKIP ON**" が点灯します。停止中やスキップ演奏がOFFのときに、スキップ設定されている曲が表示されたときは、"**SKIP**" が点灯します。

VOL
録音レベルを初期値(0.0dB)以外に調整しているときに点灯します(**P.28, 48**)。

FIX
録音レベルが可変できない状態のときに点灯します(**P.28, 48**)。

⑨ **DIG/ANA**
3枚CDチェンジャーからの録音のとき、録音する曲にコピー禁止信号があった場合 "**ANA**" 表示となり、コピー禁止信号がない場合 "**DIG**" 表示になります。

⑩ **REC THIS/Hi/COPY**
REC THIS:REC THIS機能がオンのときに点灯します(**P.25**)。
COPY:3 枚 CD チェンジャーからの録音モードになっているときに点灯します(**P.22-26**)。
Hi:2 倍速で録音しているときに点灯します(**P.30**)。

⑪ ►
3 枚 CD チェンジャーを演奏、または演奏一時停止しているときに点灯します。

⑫ ❚❚
3 枚 CD チェンジャーの演奏を一時停止しているときに点灯します。

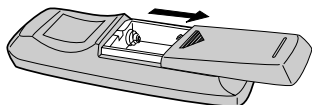
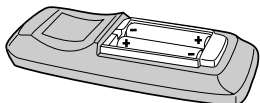
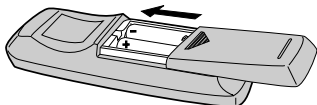
⑬ **レベルメーター表示**
演奏、または録音しているときに音声の入力レベルを表示します。

⑭ ►
CDレコーダーを演奏、または演奏一時停止しているときに点灯します。

⑮ ❚❚
CDレコーダーの演奏、または録音を一時停止しているときに点灯します。

リモコンの予備知識

リモコンに電池を入れる

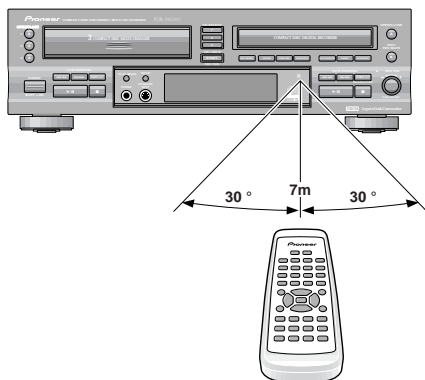
1. **裏ブタを押しながら矢印の方向に引き上げる**

2. **単 3 形乾電池(AA/R6P)の⊕と⊖の向きを正しく入れる**

3. **矢印の方向に押し込んで裏ブタを閉める**

注意

乾電池を誤って使用すると液漏れや破裂などの危険があります。次の点についてご注意ください。(電池の注意事項もよく見てください。)

◆ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖の向きを電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 長い間(1 か月以上)使用しないときは電池の液漏れを防ぐために電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよくふきとってから新しい電池を入れてください。
◆ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

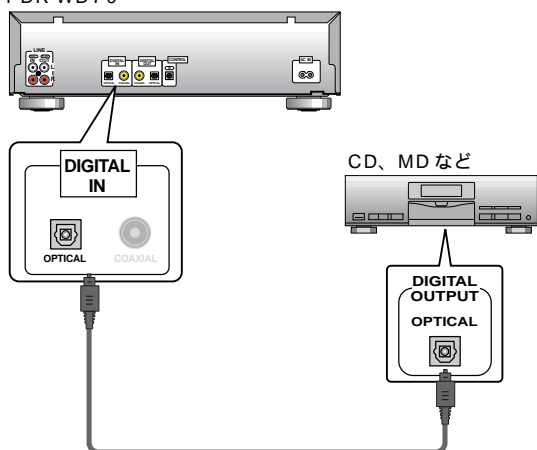
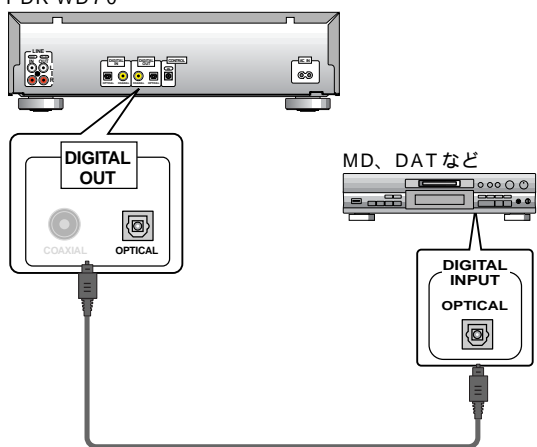
リモコン操作範囲

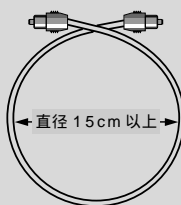
リモコンの操作可能範囲は、リモコン受光部との距離が約 7m、角度が左右 30 度までです。

- 本体にあるリモコン受光部に、リモコン前部を向けて操作してください。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光が直接リモコン受光部に当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えるか、蛍光灯から離してください。
- 本機との間に障害物があったり、リモコン受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を放射する機器の近くや、赤外線を利用した他のリモコンを使用すると、本機が誤動作することがあります。また、赤外線によってコントロールされる他の機器を使用中、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。

接続のしかた

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

付属の光デジタルケーブルで接続する

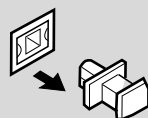
● 光デジタル出力端子を持つ外部機器(CD、MD、BSチューナー、CSチューナーなど)と接続します。

● 光デジタル入力端子を持つ外部機器(MD、DATなど)と接続します。

注意

◆ 光デジタルケーブルは急な角度に折り曲げないでください。ケーブルを破損するおそれがあります。ラックなどに入れるときは、特に注意してください。輪にして保管するときは、直径が15cm以上になるようにしてください。

◆ 接続するときは、端子の形状に合わせて奥まで確実に差し込み、不完全な接続にならないよう注意してください。

◆ 光デジタルケーブルは、長さ3m以下のものを使用してください。

◆ 光デジタルケーブルのプラグにホコリやキズがつかないよう注意してください。ホコリが付着したときは、柔らかい布などではらってから接続してください。

◆ 光デジタルケーブルを接続しないときは、本機の光端子に防塵キャップを差し込みホコリが付着しないようにしてください。

◆ 光端子を使用するときは、防塵キャップを引っぱって取りはずします。光端子を使用しない場合には、必ず防塵キャップを取付けてください。

◆ 防塵キャップは大切に保管してください。

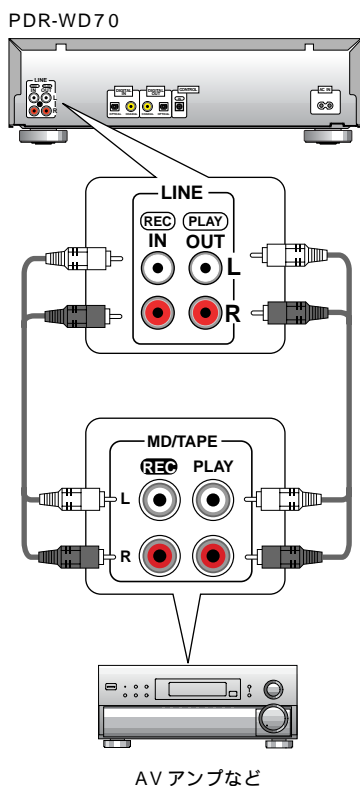
接続のしかた

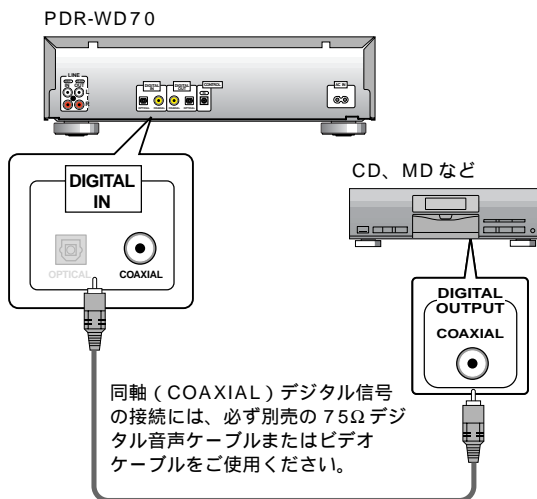
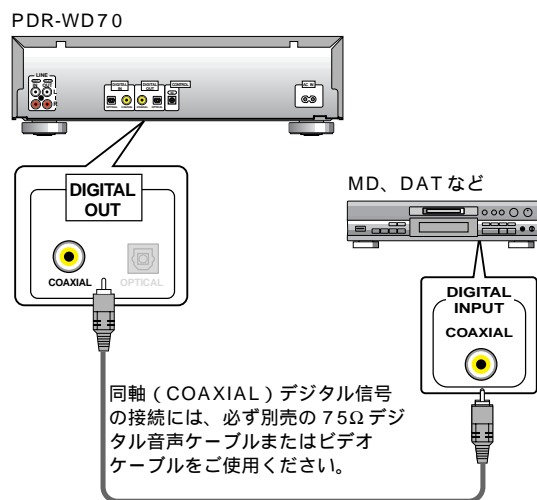
付属のオーディオコードで接続する

AV アンプやステレオアンプなどと接続します。

市販の同軸デジタルケーブルで接続する

● 同軸デジタル出力端子を持つ外部機器(CD、MD、BS チューナー、CS チューナーなど)と接続します。

● 同軸デジタル入力端子を持つ外部機器(MD、DAT など)と接続します。

メモ

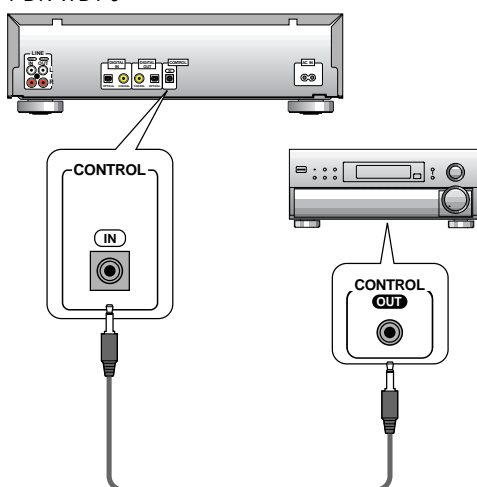
● 音声コードを接続するときは、白いプラグをL側、赤いプラグをR側につなぎます。必ず奥までしっかりと差し込んでください。

メモ

● 同軸デジタルケーブルと光デジタルケーブルは、同じ機器と接続する場合、両方の接続を行う必要はありません。どちらかの接続だけを行ってください。

接続のしかた

パイオニア SR マークがついている機器と接続する

SR マークの付いたパイオニア製 AV アンプなどと接続して、AV アンプなどのリモコンで本機を操作することができます(詳しい操作方法については AV アンプなどの取扱説明書をご覧ください)。市販のミニプラグ付きケーブル(抵抗なし、∅ 3.5)を使って、本機のコントロール入力端子と AV アンプなどのコントロール出力端子を接続します。

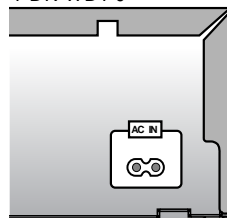
PDR-WD70

注意

- ◆ **システムコントロールする場合は、市販のミニプラグ付きケーブル以外に必ずアナログ音声出力、および音声入力の接続をしてください。**
- ◆ SR マーク付きの AV アンプなどと接続したときは、接続した機器(AV アンプなど)にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けても操作することはできません。
- ◆ SR マークのない機器やパイオニア以外の製品とは、システムコントロール接続はできません。

電源コードを接続する

付属の電源コードを本機の AC IN 端子に差し込み、もう一方を壁の電源コンセントに差し込みます。

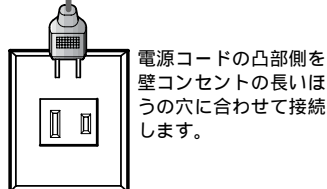
PDR-WD70

AC IN

電源コードを本体の AC インレットに差し込みます。

付属の電源コード

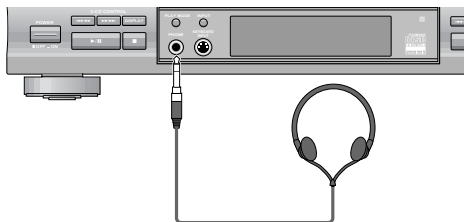
各機器との接続が終了したら、電源コードを壁のコンセントに接続します(**AC100V**)。

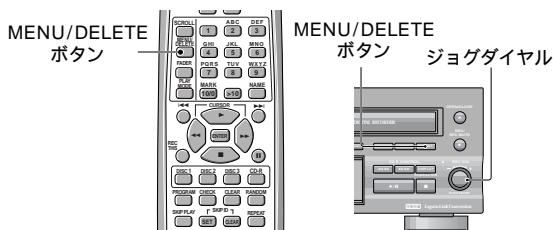
電源極性について

よりよい音質でご使用いただくために、電源コードのプラグの向きを下記のように接続することをおすすめします。

注意

- ◆ 電源コードの拡大図の凸部とコードの色は、説明上色を変えてあります。
付属している電源コードは黒一色です。

ヘッドホンを使うとき

市販のヘッドホンを、ヘッドホン端子に接続します。インピーダンス16 Ω〜50 Ω(推奨32 Ω)のヘッドホンをお使いください。

■ ヘッドホンレベルの設定

ヘッドホン出力のレベルを切り換えることができます。

1. **メニューボタン(MENU/DELETE)を押す**

- “ **HP_LEVEL L** ” と表示されます。

2. **ジョグダイヤルまたはエンターボタン(ENTER)を押す**

- “ **L?** ” が点滅します。

HP . LEVEL L ?

3. **ジョグダイヤルを回して、HIGH/LOW を切り換える**

- 左に回すと "**L(LOW)**"、右に回すと **H(HIGH)**" に切り換わります。
- 初期設定は "**L**" です。

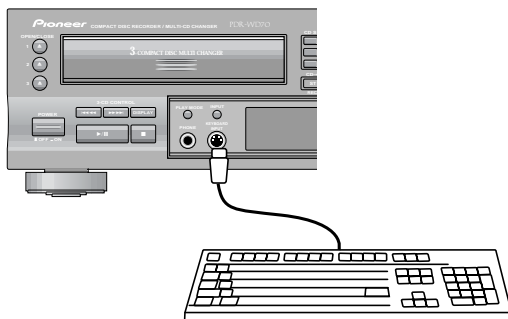
4. **ジョグダイヤルまたはエンターボタン(ENTER)を押す**

- “ **?** ” が消灯します。

5. **メニューボタン(MENU/DELETE)を押す**

- 設定モードが終了します。

キーボードを接続する

本機のキーボード接続端子に、DOS/V用の日本語用PCキーボードを接続することができます。ディスクに名前を入力するときに便利です。入力方法は**P.32** を参照してください。

■ 接続できるキーボードについて

本機前面部のキーボード接続端子は、日本語用キーボードの仕様となっています。本機にキーボードを接続する場合は、市販の、DOS/V用の日本語用PCキーボードを使用してください。
また、本機のキーボード接続端子は6ピンのミニチュアDINコネクター(PS/2 タイプ)です。キーボードを購入の際は、ご注意ください。
キーボード以外は接続できません。

使用できるディスクについて

■ CDディスク

本機には右記のマークがついているCD（光学式デジタルオーディオディスク）をお使いください。

■ CD-RディスクとCD-RW ディスク

本機で録音する場合､下記マークの付いたディスクを必ずお使いください。

＊1

または

＊2

FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY
（上記いずれかの表示のあるディスク）

上記のマークがないディスクに録音することはできません。
本機では、下記のメーカーのディスクについて動作を確認済みです。（2000 年 5 月現在）

- パイオニア株式会社 / パイオニアビデオ株式会社
- 太陽誘電株式会社
- TDK 株式会社
- 日立マクセル株式会社
- 富士写真フィルム株式会社
- 三井化学株式会社
- 三菱化学株式会社
- ソニー株式会社
- RITEK Corporation

下記のメーカーについてはメーカーサンプルにて動作を確認済みですが、自社ブランド名でのオーディオ用ディスクは未発売です。（2000 年 5 月現在）

- 株式会社リコー
- 日本コダック株式会社

上記のメーカーのディスクが、別のブランド名で発売されている場合もあります。

CD-Rディスク（コンパクトディスクーレコーダブル）を入れると CD-R インジケーターが点灯し、CD-RW ディスク（コンパクトディスクーリライタブル）を入れると CD-RW インジケーターが点灯します。
途中まで録音したディスクに続けて録音すると、録音済トラックの後から録音を開始します。CD-Rディスクは１度のみ録音が可能で、録音したデータの消去はできません。いっぽう CD-RW ディスクは録音、データの消去、新たな録音が何度でも可能です。
下記の場合には、録音をすることができませんのでご注意ください。

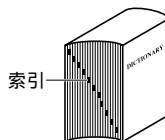
- CDインジケーターが点灯したとき(CD かファイナライズ済 CD-R を入れたとき)。
- CD-RW とファイナライズインジケーターが点灯したとき（ファイナライズ済 CD-RW を入れたとき)。
- ディスクの録音できる残り時間がなく､"REC FULL" と表示されたとき。
- すでに 99 曲録音済みで､"REC FULL"と表示されたとき。

CD-R ディスク＊１、CD-RW ディスク＊2 表示のないディスクや「FOR CONSUMER」「FOR CONSUMER USE」または「FOR MUSIC USE ONLY」と明記されていないディスクを入れたとき、"Pro DISC" と表示され、録音はできません(他の CD レコーダーで使用できた CD-R ディスクや CD-RW でも録音することはできません)。
CD-R ディスクや CD-RW ディスクを入れると、最適な録音をするために各種の調整を自動的に行ないます。
本機の電源をオンした後すぐに録音を始めようとすると、自動調整に多少時間がかかることがあります。録音一時停止状態になるまでお待ちください。
電源を切る前には必ずディスクをトレイから出してください。

著作権使用料は､著作権法で制定されています｡左記マークのついている CD-R ディスク＊１や CD-RW ディスク＊2、また「FOR CONSUMER」「FOR CONSUMER USE」「FOR MUSIC USE ONLY」とあるディスクはすでに使用料が支払われているため、個人で楽しむ範囲内での音楽録音が許されています｡ただし､個人で楽しむ以外の目的でディスクを使用する場合には、権利者から許可を得る必要があります。

＊ 演奏するCDプレーヤーのピックアップレンズが汚れて再生能力が低下している場合等は、市販のCDが演奏できてもCD-Rディスクの演奏ができないことがあります。

曲番号の記録について

一般の CD には、あらかじめ曲番号が記録されているため、任意の曲を選んで演奏させることができます。CDレコーダーで録音したディスクを一般のCDと同じように演奏させるには、曲番号を記録する必要があります。
曲番号がすでに記録されている機器(CD、MD、DAT、DCC)からのデジタルシンクロ録音のときは､自動的に曲番号(を検出して記録します。アナログシンクロ録音のときは､自動的に2秒以上の無音部分を検出し､その後音声が入力されると曲番号(を記録します。
マニュアルで録音するときは､曲間に手動で曲番号を記録します(録音がすべて終了してから曲番号の書き込むことはできません)。また、曲番号は 99 曲まで記録することができます。

CDにも辞書の索引と同じような曲番号が記録されている。

使用できるディスクについて

ファイナライズ(TOC記録)処理について

■ ファイナライズ処理とは．．．．

ファイナライズとは、録音を終了したCD-Rディスクを一般のCDプレーヤーで演奏できるようにしたり、CD-RWディスクをCD-RW対応のプレーヤーで演奏できるようにするための最終処理です。

■ ファイナライズ処理をすると．．．．

追加録音ができなくなります。また、スキップ情報の指定・解除もできなくなります。(**P.36-37**)
ただしCD-RWディスクについては、消去を行うと、録音やスキップ情報の指定・解除などができるようになります。

■ CD-RディスクとCD-RWディスクの違い

	CD-R	CD-RW
演奏	録音終了後にファイナライズ処理を行うと、一般のCDプレーヤーで演奏することができます。	一般のCDプレーヤーでは演奏することができません。ただし録音終了後にファイナライズ処理を行うと、CD-RW対応プレーヤーでのみ演奏することができます。
消去	一度録音を行うと、ファイナライズ処理を行う前でも、消去することはできません。	録音した曲を消去したり、ファイナライズ処理したディスクを、ファイナライズ前の状態に戻したりすることが何回でもできます。

"NEW DISC"
と表示されます

"NEW DISC"
と表示されます

録 音

"CD-R"と点灯します　**録音中のディスク**　"CD-RW"と点灯します

○ 追加録音できます
× 消去できません
× 一般のCDプレーヤーで演奏ができません

○ 追加録音できます
○ 最終曲消去、全曲消去、マルチトラック消去、ディスク消去ができます
× 一般のCDプレーヤーで演奏ができません

ファイナライズ

"CD"と点灯します　**ファイナライズ済みディスク**　"CD-RW"と"FINALIZE"が点灯します

× 追加録音できません
× 消去できません
○ 一般のCDプレーヤーでの演奏ができます

× 追加録音できません*
○ 全曲消去、TOC消去、ディスク消去ができます
× 一般のCDプレーヤーで演奏ができません**

* TOC消去やディスク消去を行うと、録音ができるようになります。
** CD-RW対応プレーヤーでのみ演奏させることができます。

ディスクの持ちかた

信号面（文字が印刷されていない面）にふれないでください。

保管

- ♦ 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たるところ、極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ♦ ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

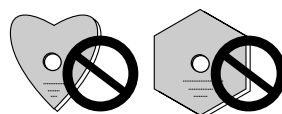
- ♦ 汚れにより音が飛んだり、音質が低下することがあります。
- ♦ 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。

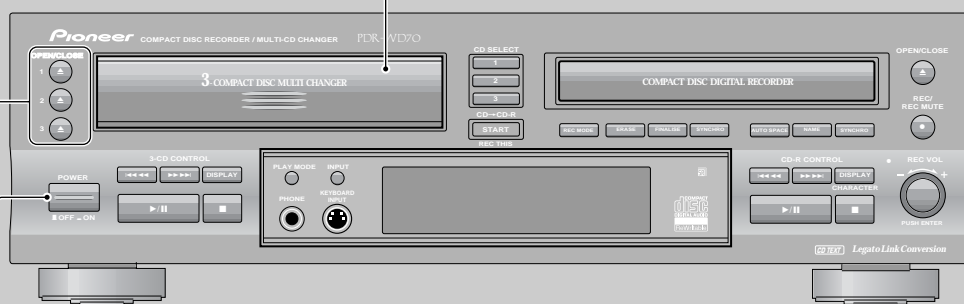
円周に沿って拭かない

柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

- ♦ ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。

注意

特殊な形状のCDは使用しないでください。
ハートの形など、円形以外の形状のCDは使用しないでください。使用すると故障の原因になります。

損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

レーベル面に紙やシールなどを貼付けたり、キズなどをつけないようにしてください。
のりなどがはみ出した場合、ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。
特に、レンタルディスクにおいてはラベルが貼ってある場合が多く、このような故障が起こる恐れがありますので、のりなどのはみ出しを確認してから、ご使用ください。

ディスクの入れかた・取り出しかた

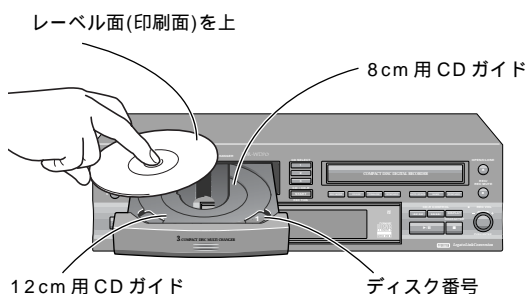
3 枚 CD チェンジャー側のディスクの入れかた・取り出しかた 3-CD

ディスクを入れる前に、必ず**電源ボタン(POWER)**を押して、本機の電源をオンにしてください。

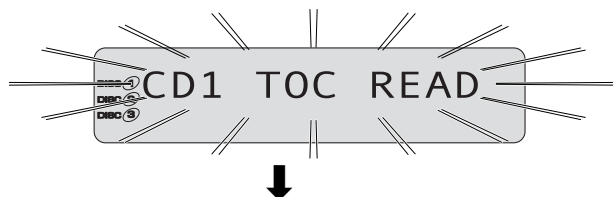
1. 3 枚 CD チェンジャーのディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲)を押す

- CDを入れたい番号(1/2/3)の**ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲)**を押します。
- ディスクトレイが出てきます。

2. ディスクを入れる

- **ディスクは下図のガイドに合わせて、正しく入れてください。**
- CD は 3 枚まで入れることができます。他のディスクトレイにCDを入れたいときは、入れたい番号(1/2/3)の**ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲)**を押して、その番号(1/2/3)のディスクトレイを開けてから入れます。

3. CD を入れた番号(1/2/3)のディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲)を押す

- ディスクトレイが閉まります。
- ディスク情報の読み取りを開始し、表示部が下記のように切り換わります。

ディスク情報の読み取りをしているとき

ディスク情報の読み取りが終わったとき

CD テキストが入力されたディスクの場合はディスクタイトルが表示されます。

メモ

- ディスクトレイ 1/2/3 のすべてに CD を入れたときは、すべての CD のディスク情報の読み取りをします。
- ディスク情報を読み取るときにディスクトレイを内部で入れ換えるため、本機から動作音が聞こえます。

注意

◆ CD を 2 枚以上重ねて入れたり、CD 以外のものを入れないでください。故障の原因となります。
◆ 8cm 用 CD アダプターは使用しないでください。
◆ 本体とディスクトレイの隙間からディスクを中に入れたり手を入れたりしないでください。

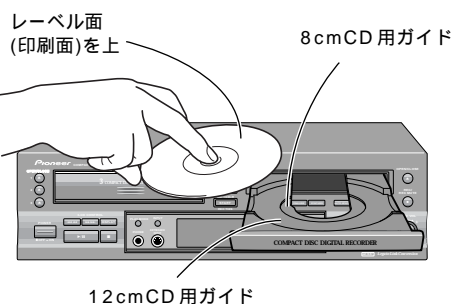
CD レコーダー側のディスクの入れかた・取り出しかた CD-R

ディスクを入れる前に、必ず**電源ボタン(POWER)**を押して、本機の電源をオンにしてください。

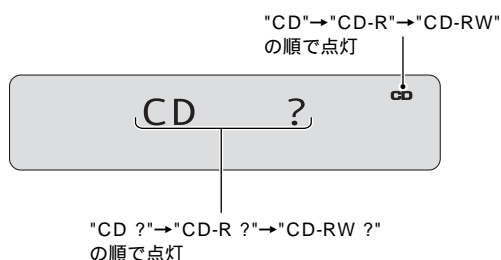
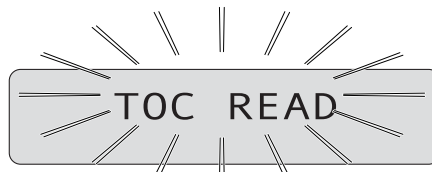
1. CD レコーダーのディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ≜)を押す

- ディスクトレイが出てきます。

2. ディスクを入れる

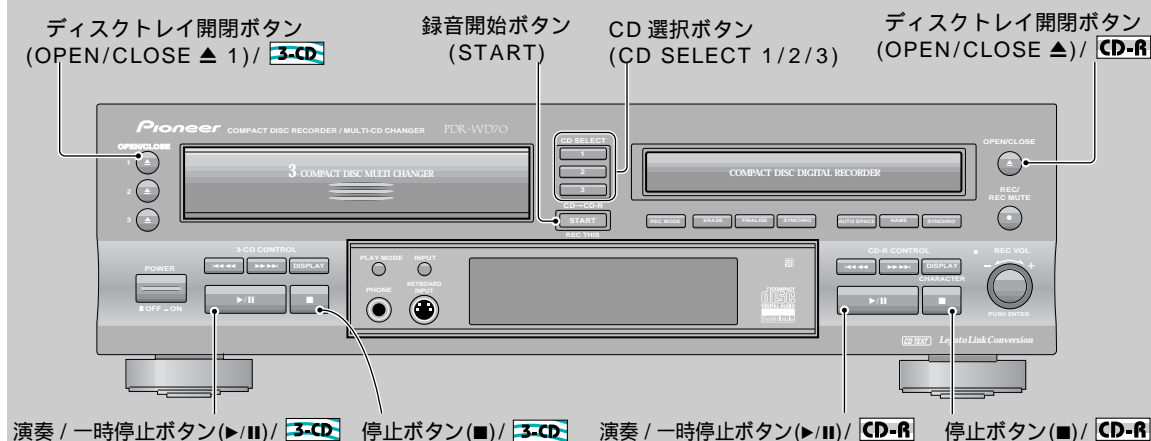
- **ディスクは下図のガイドに合わせて、正しく入れてください。**

3. ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ≜)を押す

- ディスクトレイが閉まります。
- ディスクの判別、およびディスク情報の読み取りを開始し、表示部が右記のように切り換わります。

ディスクの判別をしているとき

ディスク情報の読み取りをしているとき

ディスクの判別、およびディスク情報の読み取りが終わったとき

または

CD テキストが入力されたディスクの場合はディスクタイトルが表示されます。

CDを簡単に録音する/CDを聞く

CDをまるごと録音する(ワンタッチ録音) 3-CD/CD-R

録音開始ボタン(START)を押すだけでCD1枚をすばやく簡単にCD-R、またはCD-RWに録音することができます。ワンタッチ録音はディスクトレイ1に入れたCDのみを録音します。

1. 3枚CDチェンジャーのディスクトレイ1にCDを入れる(P.16)

2. CDレコーダーに録音できるCD-R、またはCD-RWを入れる(P.17)

3. 録音開始ボタン(START)を押す

- 録音が始まります。
- 録音が終了すると自動的にファイナライズを始めます(**P.15**)。
- ファイナライズが終了すると自動的に停止します。

メモ

- ***オートトラック機能***
  曲番号を自動で更新する機能です(**P.54**)。
- ワンタッチ録音は、通常の2倍の速度で録音します。
- 録音レベルは自動的に初期値(0.0dB)に設定されます。ワンタッチ録音中に**ジョグダイヤル**を押してから**ジョグダイヤル**を回すと、録音レベルを変えることができます(**P.28**)。

好きなCDを演奏する 3-CD/CD-R

1. 3枚CDチェンジャーにCDを入れる(P.16)

- CDレコーダーで演奏したいときは、CDレコーダーにCDを入れます(**P.17**)。

2. 演奏したいCDのCD選択ボタン(CD SELECT)を押す

- CDレコーダーで演奏したいときは、CDレコーダーの**演奏/一時停止ボタン(▶/II)**を押します。

演奏を停止する 3-CD/CD-R

停止ボタン(■)を押す

- CDレコーダーの演奏を停止させるには、CDレコーダーの**停止ボタン(■)**を押します。

演奏を一時停止する 3-CD/CD-R

演奏/一時停止ボタン(▶/II)を押す

- もう一度押すと、演奏を再開します。
- CDレコーダーの演奏を一時停止させるには、CDレコーダーの**演奏/一時停止ボタン(▶/II)**を押します。

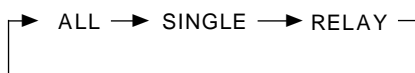
演奏中にディスクを交換する 3-CD

演奏しているCD以外のディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲)を押す

- 演奏しているCDの**ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲)**を押すと演奏を停止してからトレイが開きます。

演奏の種類を選ぶ(プレイモード) 3-CD

3枚CDチェンジャーでは演奏の種類を選ぶことができます。**演奏モードボタン(PLAY MODE)**を押すごとに下記のように切り換えることができます。

→ ALL → SINGLE → RELAY →

ALL　：ディスク1、ディスク2、ディスク3を連続して演奏します(**P.19**)。

SINGLE：ディスク1、ディスク2、ディスク3のいずれか1枚だけを演奏します(**P.20**)。

RELAY：3枚CDチェンジャー(ディスク1、ディスク2、ディスク3)とCDレコーダーを連続して演奏します(**P.20**)。

メモ

- リモコンでも操作できます。

注意

◆ 3枚CDチェンジャーの**演奏/一時停止ボタン(▶/❚❚)**を押して演奏を始めたときは、**CD選択ボタン(CD SELECT)**が点灯しているCDから演奏します。

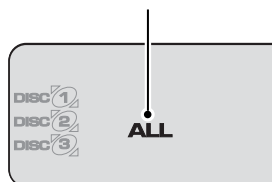
◆ CDレコーダーを演奏中、3枚CDチェンジャーの**CD選択ボタン(CD SELECT 1/2/3)**、または**演奏/一時停止ボタン(▶/❚❚)**を押すと、CDレコーダーの演奏を停止して3枚CDチェンジャーの演奏を始めます。

◆ CDレコーダーが録音、録音一時停止、またはファイナライズ中、消去中は、3枚CDチェンジャーを演奏させることはできません

ディスク1、ディスク2、ディスク3を連続して演奏する(オールディスクモード)

1. ディスクトレイ1/2/3にCDを入れる(P.16)

2. 演奏モードボタン(PLAY MODE)を押して"ALL"を選ぶ

- 電源がオンになったときは"**ALL**"に設定されています。
- "**ALL**"インジケーターが点灯します。

3. CD選択1ボタン(CD SELECT 1)を押す

- ディスク1から演奏が始まります。
- 3枚のディスクの演奏が終了すると自動的に停止します。

メモ

- オールディスクモードおよびリレーモードで演奏中、ディスクトレイ2にディスクが入っていないときは、ディスク3を演奏します。
- オールディスクモードおよびリレーモードで演奏中、ディスクトレイが開いているときは演奏を停止します。

CDを聞く

ディスク 1、ディスク 2、ディスク 3 のいずれか 1 枚だけを演奏する(シングルディスクモード)

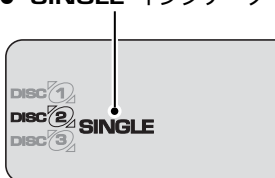
例)ディスク 2 だけを演奏したいとき

1. ディスクトレイ 2 に CD を入れる

2. 演奏モードボタン(PLAY MODE)を押して "SINGLE" を選ぶ

- "SINGLE" インジケーターが点灯します。

3. CD選択 2ボタン(CD SELECT 2)を押す

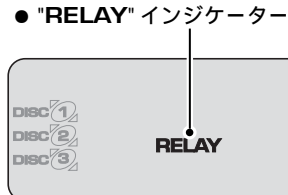
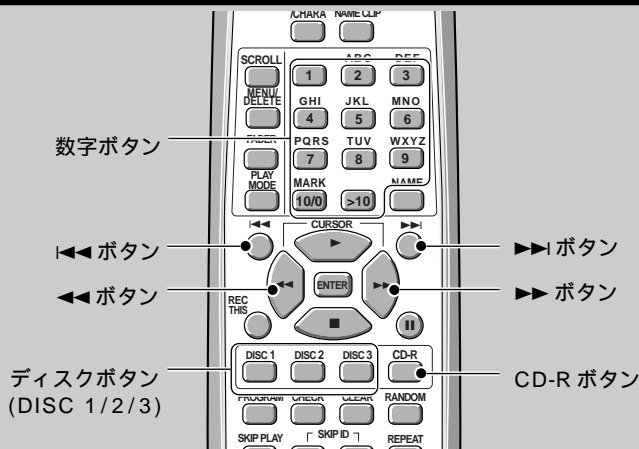
- ディスク 2 の演奏が始まります。
- ディスク 2 の演奏が終了すると、自動的に停止します。

3 枚 CD チェンジャー(ディスク 1、ディスク 2、ディスク 3)と CD レコーダーを連続して 演奏する(リレーモード)

1. 3 枚 CD チェンジャーのディスクトレイ 1/2/3、およびCDレコーダーのディスクトレイに CD を入れる

2. 演奏モードボタン(PLAY MODE)を押して "RELAY" を選ぶ

- "RELAY" インジケーターが点灯します。

3. CD選択 1ボタン(CD SELECT 1)を押す

- 3 枚 CD チェンジャーのディスク 1 から演奏が始まります。
- すべてのディスクの演奏が終了すると、自動的に停止します。

CD を聞く

演奏している曲の早送り・早戻しをする 3-CD/CD-R

演奏を聞きながら、曲の早送り・早戻しをすることができます。曲の中の聞きたいところを探すのに便利な機能です。

早送りするには、演奏中に ▶▶ ボタンを押し続ける。

早戻しするには、演奏中に ◀◀ ボタンを押し続ける。

メモ

- 本体の ◀◀◀◀/▶▶▶▶ **ボタン**でも操作できます。

曲の頭出しをする 3-CD/CD-R

演奏している曲の初めに戻るとき

◀◀ **ボタン**を演奏中に 1 回押します。

演奏している曲の前の曲に戻るとき

◀◀ **ボタン**を演奏中に 2 回押します。

演奏している曲の次の曲に移るとき

▶▶▶ **ボタン**を演奏中に 1 回押します。

メモ

- 本体の ◀◀◀◀/▶▶▶▶ **ボタン**、または**ジョグダイヤル**でも操作できます。

聞きたい曲から演奏する 3-CD/CD-R

1. ディスクボタン(DISC 1/2/3) を押して、聞きたいディスクを選ぶ

- CD レコーダーを演奏させたいときは **CD-R ボタン**を押します。
- 演奏が始まります。

2. 聞きたい曲の曲番号をリモコンの数字ボタンで選びます

選んだ曲の演奏を始めます。

1 〜 9	：番号のボタンを押します。
10	：**10/0** を押します。
11 以上	：**>10** を押してから番号を選びます。 （例）25 曲目 **>10、2、5**

メモ

- 本体の ◀◀◀◀/▶▶▶▶ **ボタン**でも選ぶことができます。

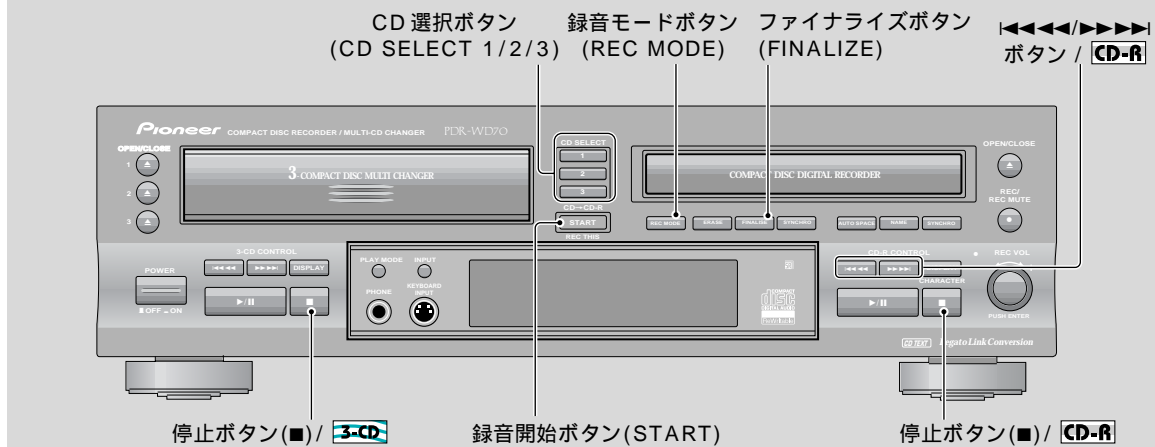
タイマー演奏するには 3-CD

市販のタイマーを使用して、希望の時間に演奏を開始することができます。この操作を行うときは、タイマーやアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1. タイマー、アンプ、および本機の電源スイッチをオンにする

2. 3 枚 CD チェンジャーにディスクをセットして、タイマーを設定する

- タイマーに接続された機器の電源がオフになります。
- タイマーの電源が入ったとき、電源を切る前に選ばれていたディスクの 1 曲目から、自動的に演奏を開始します。
- 本機の電源が入って、演奏を始める前に本機を操作すると、タイマースタートしません。
- 演奏モードは "**ALL**" になります。

いろいろな録音のしかた

CD の全曲をそのまま録音する(ディスク録音) 3-CD/CD-R

1. 3枚CDチェンジャーに録音したいCDを入れる(P.16)

2. CDレコーダーに録音できるCD-R、またはCD-RWを入れる(P.17)

3. 録音モードボタン(REC MODE)を1回押す

- 3枚CDチェンジャーにプログラムが設定されているとディスク録音を選択することはできません。プログラムを解除してから選択してください。

4. CD選択ボタン(CD SELECT)を押して録音したいCDを選ぶ

- 録音レベルを調整することができます(P.28)。
- 録音する速度を切り換えることができます(P.30)。
- 自動ファイナライズの設定をすることができます(P.30)。

5. 録音開始ボタン(START)を押す

- 録音が始まります。
- 全曲の録音が終わると自動的に停止します。

ディスク録音を途中で停止する

3枚CDチェンジャー、またはCDレコーダーの停止ボタン(■)ボタンを押す

メモ

- 録音中のCDを聴きながら録音することができます。CDの音声は後面部の音声出力端子(LINE OUT、OPTICAL OUT、COAXIAL OUT)、または前面部のヘッドホン端子(PHONES)から出力されます。2倍速で録音しているときは、光デジタル出力(OPTICAL OUT)、および同軸デジタル出力(COAXIAL OUT)から音声信号は出力しません。

注意

◆ CD-R、またはCD-RWの録音可能時間が録音するCDより少ないときは、**録音開始ボタン(START)**が点滅します。録音を始めることはできますが、CDは途中までしか録音されません。

録音を中止するとき
・**停止ボタン(■)**を押す。
・点滅が約20秒続くと、自動的に中止されます。

録音を始めるとき
・点滅中にもう一度**録音開始ボタン(START)**を押す。
3枚CDチェンジャーに入れたディスクがファイナライズされていない場合は、録音可能時間が録音するディスクより少なくても点滅しません。

◆ CDの1曲の最小録音時間は4秒以上と定められています。録音開始後、すぐに停止、または一時停止などの操作をしても、無音状態が4秒以上記録されないと操作は実行されません。この間、他の操作はできません。

◆ 入力機器のデジタル信号にコピー禁止信号があったときは、自動でアナログ録音に切り換えて録音を再開します。

◆ ディスクの録音残り時間がないとき、またはすでに99曲録音済みのときは"**REC FULL**"と表示します。この場合は録音できませんのでご注意ください。

◆ 2倍速で録音しているときは、LINE OUTの音量は1倍速のときより小さくなります。

CD の 1 曲だけを録音する (1 トラック録音) 3-CD / CD-R

ディスクトレイ 1/2/3 に入っている CD の中から 1 曲だけを録音します。

1. 3 枚 CD チェンジャーに録音したい CD を入れる(P.16)

2. CD レコーダーに録音できる CD-R、または CD-RW を入れる(P.17)

3. 録音モードボタン(REC MODE)を 2 回押す

⬇

CD- - - - REC

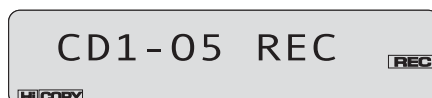
- 3 枚 CD チェンジャーにプログラムが設定されていると 1 トラック録音を選択することはできません。プログラムを解除してから選択してください。

4. CD 選択ボタン(CD SELECT)を押して、録音したい CD を選ぶ

CD1 - - REC

- 録音レベルを調整することができます(P.28)。
- 録音する速度を切り換えることができます(P.30)。
- 自動ファイナライズの設定をすることはできません。

5. 3 枚 CD チェンジャーの|◀◀◀◀/▶▶▶▶|ボタン、またはリモコンの数字ボタンで録音したい曲を選ぶ

CD1-05 REC

6. 録音開始ボタン(START)を押す

- 録音が始まります。
- 1 曲録音すると自動的に停止します。

1 トラック録音を途中で停止する

3 枚 CD チェンジャー、または CD レコーダーの停止ボタン(■)ボタンを押す

メモ

- 録音中の曲を聴きながら録音することができます(P.22 メモ)。

注意

◆ CD-R、または CD-RW の録音可能時間が録音する曲より少ないときは、**録音開始ボタン(START)**が点滅します。(P.22 注意)。

CD の 1 曲目だけを録音する (レンタル録音) 3-CD / CD-R

ディスクトレイ1/2/3に入っているCDの1曲目をディスクトレイ1から順に録音をします。録音しながらCDを入れ換えることができるので、たくさんのCDから録音することができます(P.18)。

1. 3 枚 CD チェンジャーに録音したい CD を入れる(P.16)

2. CD レコーダーに録音できる CD-R、または CD-RW を入れる(P.17)

3. 録音モードボタン(REC MODE)を 3 回押す

RENTAL REC
REC
Hi COPY

- 録音レベルを調整することができます(P.28)。
- 録音する速度を切り換えることができます(P.28)。
- オートスペース機能をオンにすることができます(メモ)。
- 自動ファイナライズの設定をすることはできません。
- 3 枚 CD チェンジャーにプログラムが設定されているとレンタル録音を選択することはできません。プログラムを解除してから選択してください。

4. 録音開始ボタン(START)を押す

- 録音が始まります。
- ディスクトレイ 1 に入っている CD からディスクトレイ 2➞3➞1・・・の順で録音します。CDを入れ換えたときも 1➞2➞3➞1・・・の順で録音します(メモ)。
- トレイに入っているすべてのディスクの録音が終わると自動的に停止します。

レンタル録音を途中で停止する

3 枚 CD チェンジャー、または CD レコーダーの停止ボタン(■)ボタンを押す

メモ

- ***オートスペース機能***

  自動的に曲と曲の間に 4 秒間の無音部分をつくります。オートスペース機能をオンにするには、**オートスペースボタン(AUTO SPACE)**を押します。レンタル録音、プログラム録音のときに設定することができます。

- ***録音する順番について***

  例えばディスク 2 を録音中にディスク 1、3 を入れ換えた場合は、ディスク 2 の録音終了後、ディスク 3 を録音します。

- 録音中の曲を聴きながら録音することができます(P.22 メモ)。

注意

◆ CD-R、またはCD-RW の録音可能時間が録音する曲より少ないときは、**録音開始ボタン(START)**が点滅します。(P.22 注意)。

演奏中の曲を録音する (REC THIS 録音) 3-CD / CD-R

現在演奏中の曲を、曲の頭から録音します。

1. 3枚CDチェンジャーに録音したいCDを入れる(P.16)

2. CDレコーダーに録音できるCD-R、またはCD-RWを入れる(P.17)

3. 3枚CDチェンジャーの演奏を開始する

4. 録音したい曲のときに、録音開始ボタン(START)を押す

- "REC THIS" インジケーターが点灯します。

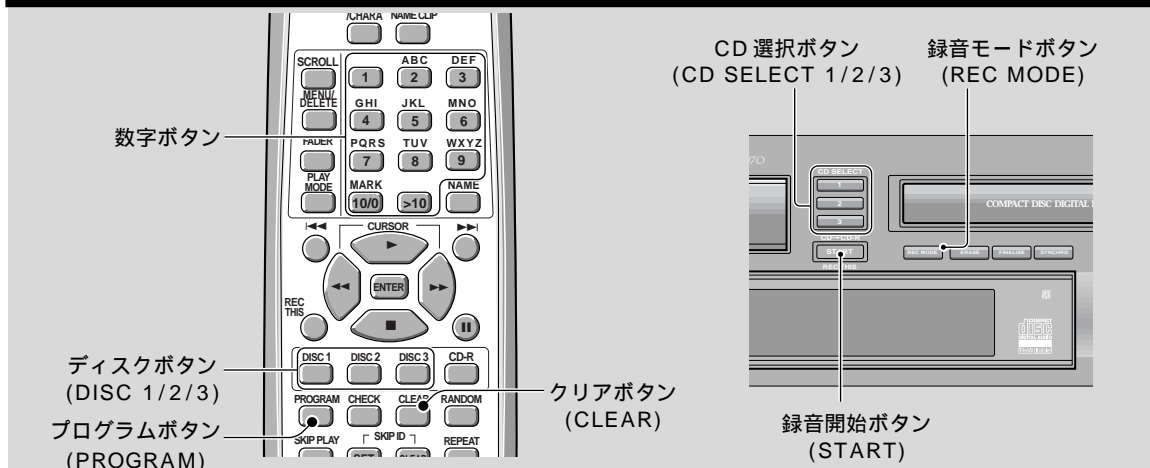
- 録音レベルを調整することができます(P.28)。
- 録音する速度は1倍速です。
- 自動ファイナライズの設定をすることはできません。
- 曲の頭から録音を開始します。
- 録音が終了するとCDレコーダーはPMA RECを行ってから停止します。3枚CDチェンジャーはそのまま次の曲を演奏します。
- CDレコーダーのPMA RECが終了しRECインジケーターが消灯するまでは、次の曲を録音することはできません。

REC THIS 録音を途中で停止する

3枚CDチェンジャーの停止ボタン(■)を押す

- CDレコーダーの停止ボタン(■)を押すと、CDレコーダーのみ停止します

注意

◆ CD-R、またはCD-RWの録音可能時間が録音する曲より少ないときは、**録音開始ボタン(START)**が点滅します。(P.22 注意)。

好きな曲を選んで録音する(プログラム録音) 3-CD/CD-R

3枚CDチェンジャーに最大30曲までプログラムして録音することができます。

例）演奏する順番をディスク３の６曲目、ディスク２の３曲目とプログラムする場合

1. ３枚CDチェンジャーに録音したいCDを入れる(P.16)

2. CDレコーダーに録音できるCD-R、またはCD-RWを入れる(P.17)

3. CDの演奏を開始してプログラムボタン(PROGRAM)を押す

- "PGM" インジケーターが点滅します。

CD3　06 00:58
PGM

4. ディスクボタン(DISC 1/2/3)を押して、録音したいCDを選ぶ

- 例の場合は、**ディスク３ボタン(DISC 3)**を押します。
- 本体の**CD選択ボタン(CD SELECT)**でも選べます。

5. 数字ボタンを押して、録音したい曲を選ぶ

- 例の場合は、**数字ボタン**の**６**を押します。

6. もう一度プログラムボタン(PROGRAM)を押す

- ディスク３の６曲目がプログラムされます。
- "PGM"インジケーターが点灯に変わります。

7. 手順4～6を繰り返して、録音したい曲のディスク番号と曲番号をプログラムする

- 例の場合は、**ディスク２ボタン(DISC 2)**を押してから、**数字ボタン**の**３**を押します。
- プログラム中に曲番を間違えたときは、演奏を停止させてから**クリアボタン(CLEAR)**を押します。最後にプログラムした曲から順に消えます。

8. プログラムの登録が終了したら、録音モードボタン(REC MODE)を押す

- オートスペース機能をオンにすることができます(**P.24** メモ)。
- 録音レベルを調整することができます(**P.28**)。
- 録音する速度を切り換えることができます(**P.30**)。
- 自動ファイナライズの設定をすることはできません。

9. 録音開始ボタン(START)を押す

- 録音が始まります。
- プログラムした内容の録音がすべて終わると自動的に停止します。

メモ

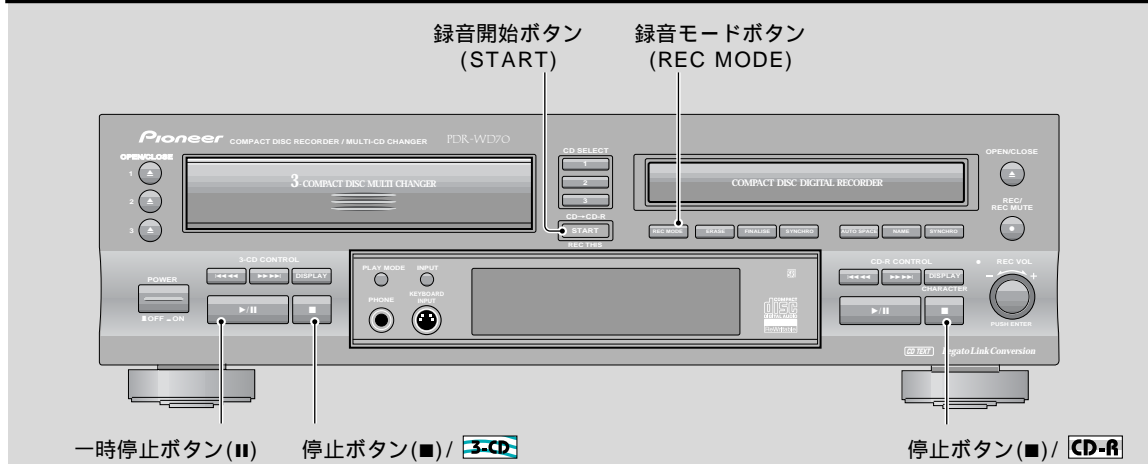
- 録音中の曲を聴きながら録音することができます(**P.22** メモ)。

注意

◆ CD-R、またはCD-RWの録音可能時間が録音する時間より少ないときは、**録音開始ボタン(START)**が点滅します。(**P.22** 注意)。

録音開始ボタン
(START)

録音モードボタン
(REC MODE)

一時停止ボタン(II)　停止ボタン(■)/ 3-CD　停止ボタン(■)/ CD-R

曲の途中から録音する

3-CD / CD-R

現在演奏中の曲を、曲の途中から録音します。

1. 3枚CDチェンジャーに録音したいCDを入れる(P.16)

2. CDレコーダーに録音できるCD-R、またはCD-RWを入れる(P.17)

3. CDの演奏を開始して、録音したいところで一時停止ボタン(II)を押す

4. 録音モードボタン(REC MODE)を押す

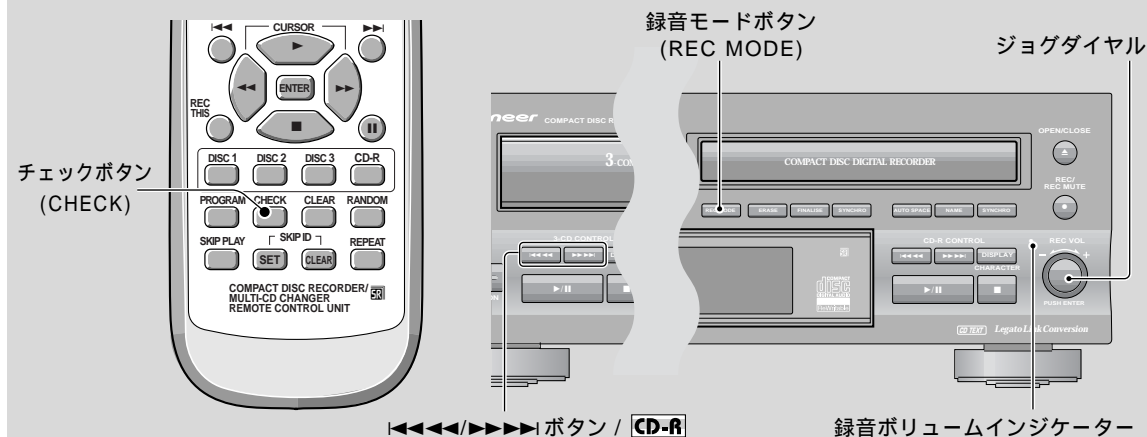
1回押す → ディスク録音
2回押す → 1 トラック録音

- 録音レベルを調整することができます(**P.28**)。
- 録音する速度は1倍速です。
- 自動ファイナライズの設定をすることはできません。
- 3枚CDチェンジャーにプログラムが設定されていると、録音モードはプログラム録音になります。

5. 録音開始ボタン(START)を押す

- 録音が始まります。
- ディスク録音、または1トラック録音が終わると自動的に停止します。

途中で停止する

3枚CDチェンジャー、またはCDレコーダーの停止ボタン(■)ボタンを押す

録音するときの録音レベルを調整する 3-CD→CD-R

3枚CDチェンジャーから録音するときは、録音レベルが自動的に初期値(0.0dB)に設定されます。FIXはオンの状態になっています。通常録音レベルを調整する必要はありませんが、音量レベルが小さいCDなどから録音するときに調整することをおすすめします。録音レベルは、録音するCD、または曲を選んだ後に調整します(録音中でも調整できます)。

1. 録音モードボタン(REC MODE)を押して、録音するCDまたは曲を選ぶ

2. 確認ボタン(CHECK)を押す

- "**SCAN**" インジケーターが点滅します。
- 録音するCDまたは曲を繰り返し演奏します。
- 演奏する速度は録音する速度と同じになります。
- 3枚CDチェンジャーの⏮◀◀◀/▶▶▶⏭**ボタン**を押して、調整する位置(曲)を移動することができます。

3. ジョグダイヤルを押す

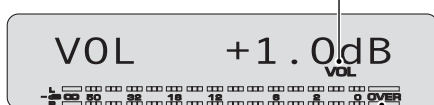
- 録音レベル値の表示になります。

4. 録音レベル値の表示中にジョグダイヤルを押す

- "**FIX**" インジケーターと本体の**録音ボリュームインジケーター**が消灯します。
- "**FIX**"インジケーターは押すたびにオン/オフが切り換わります。

5. ジョグダイヤルを回す

- 録音レベルを調整します。録音レベルが初期値(0.0dB)以外に調整されると、表示部に"**VOL**" インジケーターが点灯します。
- 録音レベルは、一番大きな音が入力されたときに"**OVER**"エリアが点灯しないように調整します。
- デジタル録音レベルの調整範囲は、"**MIN 〜 +20dB**" です。

"VOL" インジケーター

レベルメーターをみて調整する　**OVER エリア**(0.0dB 以上で点灯)

5. 録音レベルの調整が終了したら、確認ボタン(CHECK)を押す

- "**SCAN**" インジケーターが消灯して、録音モードの表示に戻ります。

VOL 0.0dB
FIX

録音レベルを初期値(0.0dB)に戻す

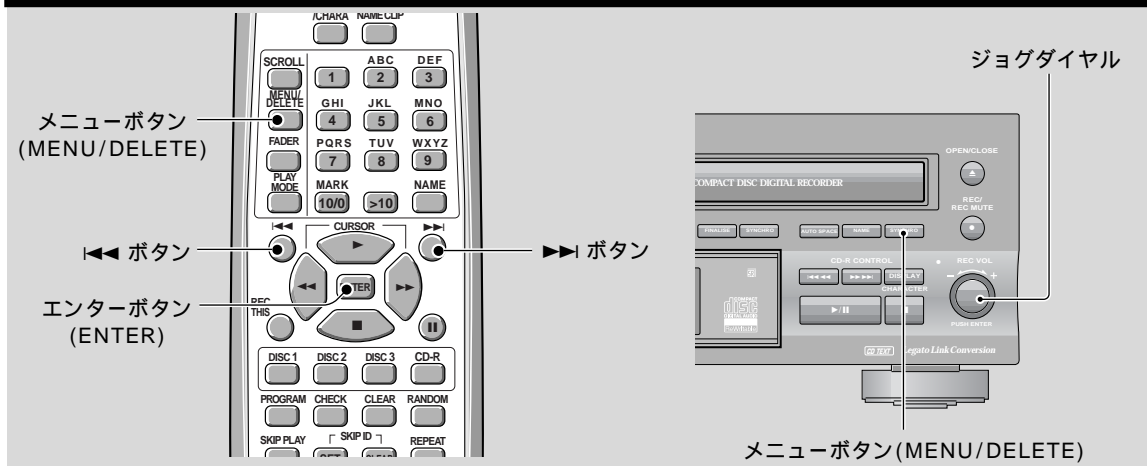
録音レベルを表示中、ジョグダイヤルを約3秒間押し続ける

- "**VOL**" インジケーターが消灯します。

メモ

- 録音レベルの設定は各入力ごとに設定することができます。
- 電源をオフにした後も、設定したレベルは本体に記憶されます。

注意

◆ HDCDやDTS CDを録音するときは、録音レベルを 0.0dB(初期値)にしてください。
◆ FIX の状態でジョグダイヤルを回すと、"**VOL FIX**" と表示が点滅します。その間にジョグダイヤルを押したときも FIX はオフになります。

録音バランスを調整する

デジタル録音、アナログ録音ともに左右バランスを調整することができます。

1. メニューボタン (MENU/DELETE) を押す

2. ジョグダイアルを回して "BALANCE" を選ぶ

- リモコンの|◀◀ ▶▶|ボタンでも選択できます。

BALANCE

3. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

4. ジョグダイアルを回して、左右の録音バランスを調整する

- 左へ回すとL側のバランスレベルが上がり、右へ回すとR側のバランスレベルが上がります。
- **ジョグダイアル**または**エンターボタン(ENTER)**を3秒間押し続けると初期値のCENTERに戻ります。

L - - - - I - - - - - R

5. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

- 録音バランスがが設定されます。

BALANCE

メモ

- 録音バランスの設定は各入力ごとに設定することができます。
- 電源をオフにした後も、設定したレベルは本体に記憶されます。

注意

◆ 録音バランスの調整範囲は "**0 〜 約− 5dB**" です。

録音する速度(1倍速/2倍速)を切り換える CD-R

録音する速度は自動的に 2 倍速に設定されます。下記の操作で速度を切り換えることができます。

通常の速度(1 倍速)で録音する

録音モードボタンを押した後に、CD レコーダーの ⏮◀◀◀◀ ボタンを押す

- "**Hi**" インジケーターが消灯します。

```
CD-1    REC
COPY
```

通常の 2 倍の速度(2 倍速)で録音する

録音モードボタンを押した後に、CD レコーダーの ▶▶▶▶⏭ ボタンを押す

- "**Hi**" インジケーターが点灯します。

```
CD-1    REC
Hi COPY
```

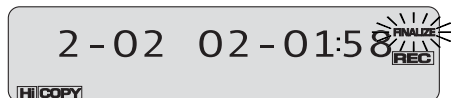
メモ

- 録音速度の切り換えは、**録音モードボタン(REC MODE)**を押してから、録音を開始するまでの間に行って下さい。録音を開始した後は切り換えることはできません。

自動ファイナライズの設定をする CD-R

録音が終わると自動でファイナライズを開始するように設定することができます。ファイナライズが始まる前であれば、いつでも設定、または解除することができます。ファイナライズすると追加録音ができなくなります(P.15)。

ファイナライズボタン(FINALIZE)を押す

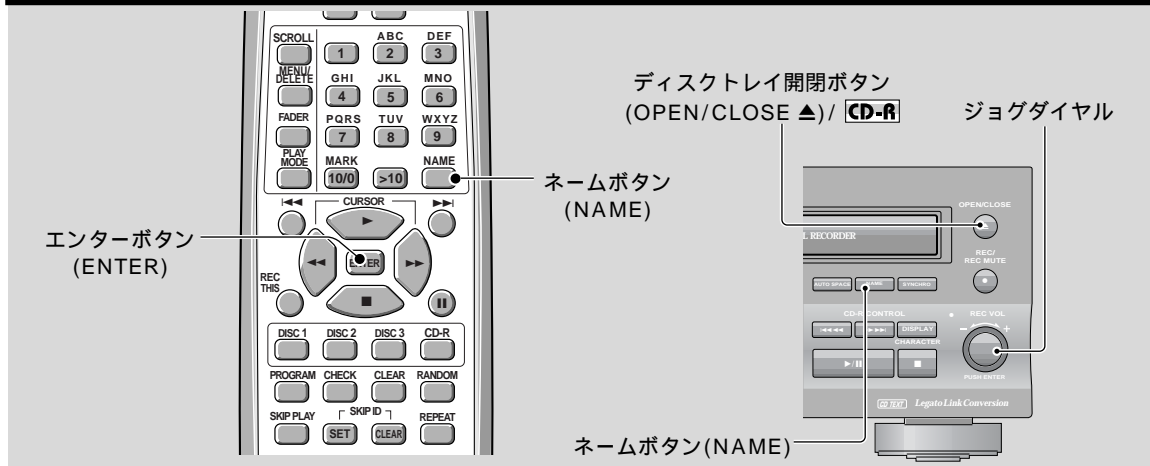
```
2-02  02-01:58 FINALIZE REC
Hi COPY
```

- "**FINALIZE**" インジケーターが点滅します。
- 自動ファイナライズの設定を解除したいときは、ファイナライズが始まる前に、もう一度**ファイナライズボタン(FINALIZE)**を押します。
- 全ての曲の録音が終わるとファイナライズを始めます。
- ファイナライズが終わると自動的に停止します。

メモ

- 自動ファイナライズの設定ができるのは、ワンタッチ録音とディスク録音のときのみです。

注意

◆ CD-R、または CD-RW ディスクに録音中、ディスクに録音できる時間がなくなったときはファイナライズをして録音を終了します。

録音したあとにできること

録音したディスクに名前をつける(ネーム機能) CD-R

ネーム機能について

- ファイナライズのされていないCD-RまたはCD-RWには、最大99曲の曲名とひとつのディスク名、ひとつのアーティスト名をつけることができます。
- ファイナライズしたディスクには名前をつけることはできません。
- 名前をつけたCD-RディスクまたはCD-RWディスクをファイナライズせずに取り出すと、入力された名前は本体で自動的に記憶します。このディスクを挿入すると、入力した名前が表示されます。
- 入力した名前はディスク3枚分まで記憶可能です。3枚分記憶された状態で、新たなディスクに名前をつける場合は、すでに名前をつけたディスクをファイナライズしてください。4枚目のディスクに名前をつけて、ファイナライズせずに取り出すと、**最初のディスクに入力した名前の情報は失われます。**
- 文字を入力する方法は、本体で入力する方法と、リモコンで入力する方法、またはキーボード入力端子(KEYBOARD INPUT)にキーボードを接続して、キーボードで入力する方法があります。
- ひとつの名前に対して120文字、1枚のディスクに2000文字まで入力することができます。
- 本機で名前を入力したディスクを本機以外のCD-Rで追加録音した場合、ネーム機能は使用できなくなります。

A
B
C

ファイナライズをしなくても、
ディスク3枚までは入力した名前を
本体で記憶することができます。

A
B
C
D

4枚目のディスクに名前を入力する場合は、
本体で記憶していたディスクを
ファイナライズしなければ最初に入力した
名前の情報は失われてしまいます。

A

ファイナライズをするとネーム情報は
ディスクに書き込まれます。

名前をつける

1. ディスクトレイに名前をつけたいディスクを入れる**(P.17)**

2. ディスク名をつけるときは....

- 停止中に**ネームボタン(NAME)**を1回押します。

```
DISC NAME
```

アーティスト名をつけるときは....

- 停止中に**ネームボタン(NAME)**を2回押します。

```
ARTIST NAME
```

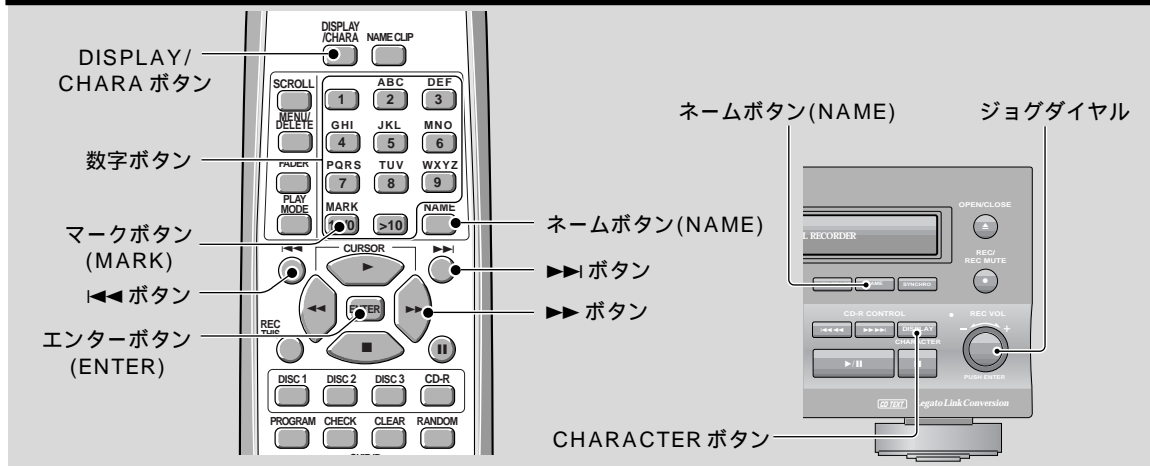
曲に名前をつけるときは....

- **ジョグダイヤル**で名前をつけたい曲を選曲してから、**ネームボタン(NAME)**を1回押します。

```
TRACK NAME
```

- 名前をつけたい曲が演奏中、演奏一時停止中、録音中、停止中のどの状態のときでも入力することができます。
  録音一時停止中のときに録音を再開しないで停止すると、入力した名前は失われます。

- それぞれのモードで約2秒間なにも操作がない場合はネーム入力モードに入ります。(リモコンの**ENTERボタン**または**ジョグダイアル**を押すことでもネーム入力モードに入ることができます。)

録音したあとにできること

3. ジョグダイヤル、またはリモコンの ⏮ ⏭ ボタンで入力する文字を選ぶ

B

- 入力できる文字の種類については メモ をご覧ください。
- リモコンの**数字ボタン**でも選ぶことができます。**数字ボタン**で記号を選ぶときは**マーク(MARK)ボタン**を押します。

4. ジョグダイヤル、またはリモコンのエンターボタン(ENTER)を押して、選んだ文字を決定する

B_

- **▶▶ ボタン**でも決定することができます。

5. 手順 3 から 4 を繰り返して名前を入力する

6. 名前の入力が終わったら、ネームボタン(NAME)を押す

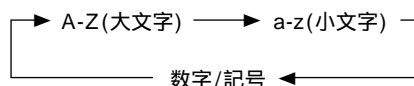
- ネーム入力モードが終了します。

注意

◆ 録音中または演奏中に曲名を入力していて、名前の入力が完了する前に次の曲になった場合は、そのときまで入力していた文字を曲名として決定します。録音または演奏が終わってから入力をやり直してください。

メモ

文字の種類を変えるには

- 文字の種類を変えるには、**DISPLAY/CHARA ボタン**を押します。押すごとに文字の種類が切り換わります。

ネーム機能で入力できる文字の種類

- **アルファベット(大文字 / 小文字)**
  ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
- **数字、記号(キャラクター文字)**
  1234567890!"#$%&'()＊+,－./<=>?@[ ]^_`{|}(スペース / 空白)

■ キーボードで入力する

市販のキーボードを使用して文字を入力する場合、キーボードのキーと操作の内容については、下記の表を参照して下さい。

キーボード	操作内容	キーボード	操作内容
F1	NAME	Scroll Lock	■
F2	NAME CLIP	Pause	▶/II
F3	SCROLL	Home	文字入力時、文頭に移動します
Space	スペースの入力をします	Delete	文字入力時の削除
Enter	ENTER	End	文字入力時、文尾に移動します
Backspace	バックスペースの入力を行います	→	▶▶
Shift + F1	DISC 1	←	◀◀
Shift + F2	DISC 2	↑	⏭
Shift + F3	DISC 3	↓	⏮
Shift + F4	CD-R	Num Lock	PROGRAM
Shift + F5	REC START	/	REPEAT
Shift + F6	REC MODE	*	RANDOM
Shift + F7	ERASE	-	CLEAR
Shift + F8	FINALIZE	+	>10
Shift + Caps Lock	大文字、小文字を切り替えます	0–9	0–9
Print Screen	DISPLAY	A–Z	文字入力時を行います

文字を追加する

ディスクにつけたディスク名や曲名、アーティスト名を修正（文字の追加 / 変更 / 消去）することができます。ファイナライズされたディスクは修正できません。

1. ネームボタン(NAME)を押して追加したい文字のネーム入力モードにする

2. ◀◀ ▶▶ ボタンで追加する文字の位置を選ぶ

```
BEST OF EST
```

3. ジョグダイヤル、またはリモコンの |◀◀ ▶▶| ボタンで入力する文字を選ぶ

- 入力できる文字の種類については**P,32 メモ** をご覧ください。
- リモコンの**数字ボタン**でも選ぶことができます。**数字ボタン**で記号を選ぶときは**マーク(MARK)ボタン**を押します。

4. ジョグダイヤル、またはリモコンのエンターボタン(ENTER)を押して、選んだ文字を決定する

```
BEST OF BEST
```

5. ネームボタン(NAME)を押す

- ネーム入力モードが終了します。

文字を消去する

1. ネームボタン(NAME)を押して消去したい文字のネーム入力モードにする

- ディスク名の場合は 1 回、アーティスト名の場合は 2 回、**ネームボタン(NAME)**を押します。曲名の場合は**ジョグダイヤル**で名前をつけたい曲を選曲してから、**ネームボタン(NAME)**を 1 回押します。

2. ◀◀ ▶▶ ボタンで消去したい文字の位置を選ぶ

```
BESTT
```

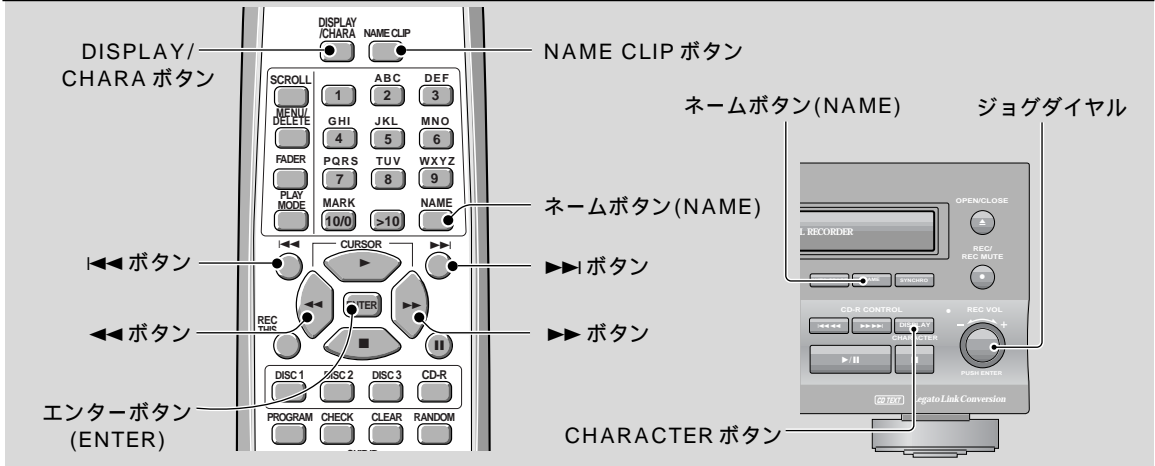
3. MENU/DELETE ボタンを押す

```
BEST
```

- 文字が消去されます。

4. ネームボタン(NAME)を押す

- ネーム入力モードが終了します。

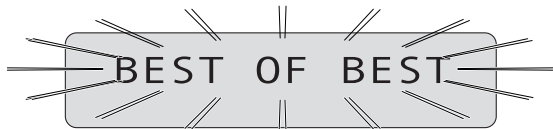
録音したあとにできること

コピーしたい文字や名前を記憶する

同じ様な文字や名前を何度も入力するときなどに、この機能を使うと便利です。すでに入力されている文字や名前を記憶し、何回でもコピーすることができます。最大40文字までの文字や名前を3つ記憶することができます。

1. DISPLAY/CHARACTER ボタンを押してコピーしたい名前を表示させる

```
BEST OF BEST
```

2. ネームクリップボタン(NAME CLIP)を押す

- 選んだ名前が1回点滅し、名前が記憶されたことを知らせます。
- 3つ目以降に名前の記憶をすると、一番古い名前が消去され、新しい名前が上書きされます。

メモ

- 著作権で保護されたCD テキストは、ネームクリップできません。
- 電源を切ると、記憶されたネームは消えます。

記憶した文字や名前をコピー入力する

1. ネームボタン(NAME)を押して、コピー入力したいネーム入力モードにする

2. ◀◀ ▶▶ ボタンで名前をコピーしたい位置を選ぶ

```
MY_
```

3. ネームクリップボタン(NAME CLIP)を押す

- 名前を一つしか記憶していない場合は、手順6に進んでください。

4. ジョグダイヤル、またはリモコンの |◀◀ ▶▶| ボタンでコピーしたい名前を選ぶ

5. ジョグダイヤル、またはリモコンのエンターボタン(ENTER)を押して、選んだ名前をコピーする

```
MY BEST OF B
```

6. ネームボタン(NAME)を押す

- ネーム入力モードが終了します。

ファイナライズ（TOC 記録）のしかた CD-R

ファイナライズとは、録音が終了したCD-R、またはCD-RW を一般の CD プレーヤーで演奏できるようにする最終処理です（ただし、CD-RWはCD-RW対応プレーヤーでしか演奏できません）。ファイナライズは約２分で完了します。

注意

- ◆ ファイナライズ開始後は、本機の操作はできません。
- ◆ ファイナライズが完了した CD-R/CD-RW に、追加録音、およびスキップ情報の指定または解除(**P.36-37**)をすることはできません。
- ◆ キズ、汚れ、またはホコリのついている CD-R/CD-RW をファイナライズすると、処理が完了しないことがあります。約10分経過しても処理が完了しないときは、**停止ボタン（■）**を押して強制的に処理を中断することができます。ただし、このCD-R/CD-RWは一般の CD プレーヤーでは演奏できません。
- ◆ **ファイナライズ中は絶対に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。ディスク破損の原因となります。**

1. 録音が終わった CD-R、または CD-RW を入れる

2. ファイナライズボタン(FINALIZE)を押す

- ファイナライズが終了するまでの残り時間が表示されます。

TOC 02:03 REC

- ファイナライズしないときは**停止ボタン（■）**を押します。

3. 演奏 / 一時停止ボタン(▶/II)を押す

- ファイナライズを開始します。
- ファイナライズが完了すると自動的に停止します。

CD-R のファイナライズが完了したとき

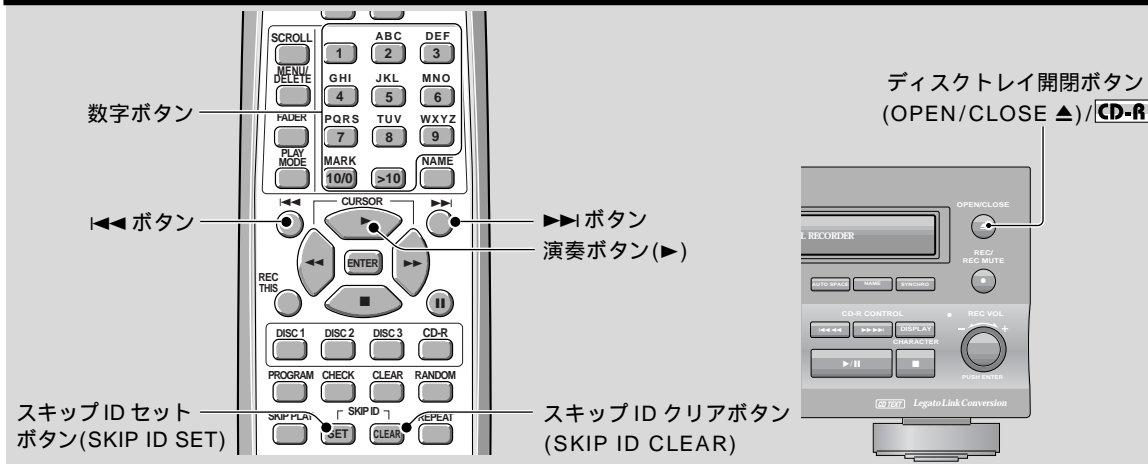
"CD" インジケーターが点灯します。

CD-R 14 54:29 CD

CD-RW のファイナライズが完了したとき

"CD-RW" インジケーターが点灯します。

CD-R 14 54:29 CD-RW FINALIZE

"FINALIZE" インジケーターが点灯します。

スキップモードについて CD-R

聴きたくない曲(録音を失敗した曲など)を飛ばして演奏するスキップ情報を指定することができます。スキップ情報の指定、および解除できる回数は 21 回までです。スキップ情報を何度も指定・解除すると、スキップ情報を指定できる曲数が少なくなる場合もあります。

スキップ情報を指定する

1. スキップしたい曲を演奏する

- リモコンの**数字ボタン**か |◀◀/▶▶| **ボタン**、または本体の|◀◀◀◀/▶▶▶▶|**ボタン**で曲を選択します。

2. スキップ IDセット ボタン(SKIP ID SET)を押す

02 SKIP SET?
SKIP

- "SKIP" インジケーターが点滅します。
- 演奏している曲を繰り返し演奏します。
(演奏している曲にスキップ情報がすでに指定されているときは、指定されていない次の曲を探して繰り返し演奏します。|◀◀/▶▶| ボタンでも指定されていない曲だけを選べます)
- スキップ情報の指定を中止する場合は、**演奏ボタン(▶)**または**スキップ ID クリアボタン(SKIP ID CLEAR)**を押します。

3. もう一度、スキップIDセットボタン(SKIP ID SET)を押す

- "SKIP"インジケーターが点滅から点灯に変わり、約 2 秒後に演奏時間の表示に戻ります。

02 SKIP SET
SKIP

4. 手順 1 ～ 3 を繰り返して、他の曲のスキップ情報を指定する

5. スキップ情報の指定が終了したら、ディスクトレイ開閉ボタン(▲)を押す

- スキップ情報がディスク上に記録されます。このとき、数秒間 "**CD-R OPEN**" 表示が点滅します。スキップ情報が記録された後、トレイが開きます。

注意

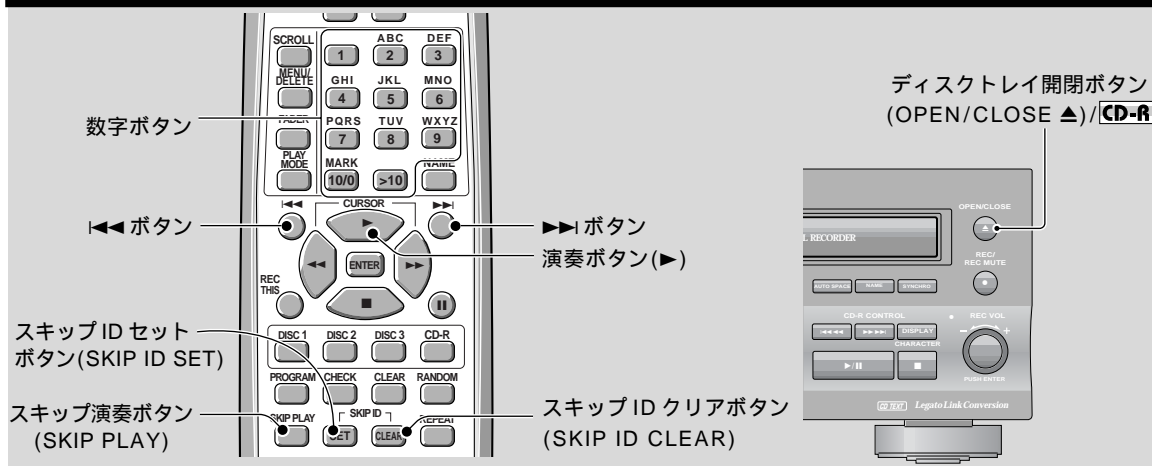
◆ スキップ機能のないCDプレーヤーでスキップ演奏することはできません。
◆ 市販のCD、またはファイナライズしてあるCD-R/CD-RWでは、スキップ情報を指定 / 解除することはできません。
◆ プログラム演奏、またはランダム演奏中にスキップ情報を指定 / 解除することはできません。
◆ スキップ情報は指定・解除の数が限られており、"**SKIP FULL**"と表示されたときはそれ以上の指定・解除ができません。

スキップ情報を解除する

1. スキップ演奏ボタン(SKIP PLAY)を押す

- "SKIP ON"インジケーターが消えます。(もともとスキップ情報を持たない CD-R ディスクや CD-RW ディスクでは、SKIP ON は点灯しません。)

2. スキップ解除したい曲を演奏する

- リモコンの**数字ボタン**か、|◀◀/▶▶| **ボタン**または本体の|◀◀◀◀/▶▶▶▶|**ボタン**で曲を選択します。

3 スキップIDクリアボタン(SKIP ID CLEAR)を押す

02 SKIP CLR?
SKIP

- "SKIP" インジケーターが点滅します。
- 演奏している曲を繰り返し演奏します。(演奏している曲にスキップ情報が指定されていないときは、指定されている次の曲を探して繰り返し演奏します。|◀◀/▶▶| **ボタン**でも指定されている曲だけを選べます)
- スキップ情報の解除を中止する場合は、**演奏ボタン(▶)**または**スキップIDセットボタン(SKIP ID SET)**を押します。

4. もう一度スキップIDクリアボタン(SKIP ID CLEAR)を押す

- "SKIP" インジケーターが消灯し、約2秒後に演奏時間の表示に戻ります。

5. 手順2～4を繰り返して、他の曲のスキップ情報を解除する

6. スキップ情報の解除が終了したら、ディスクトレイ開閉ボタン(▲)を押す

- スキップ情報がディスク上に記録されます。このとき、数秒間 "CD-R OPEN" 表示が点滅します。スキップ情報が記録された後、トレイが開きます。

ファイナライズしていないCD-RWを消去する CD-R

最後の曲を消去する(最終曲消去)

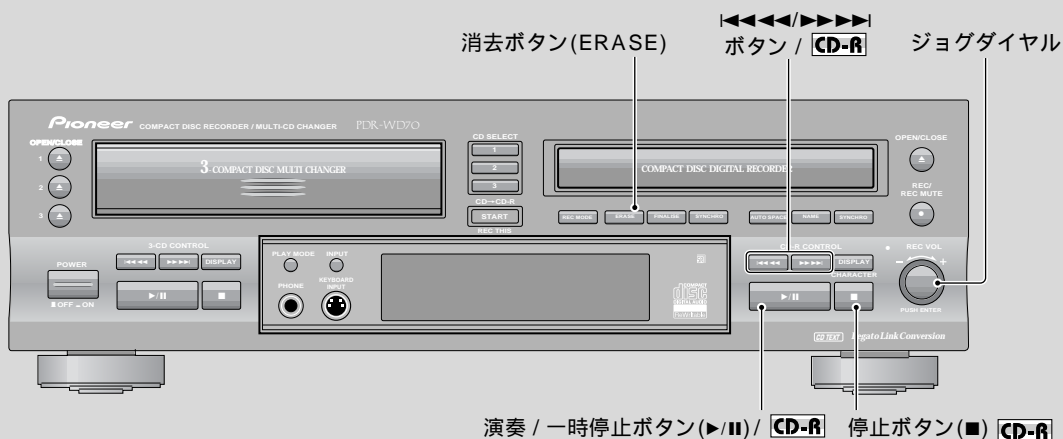
1. 消去したいCD-RWを入れる

2. 消去ボタン(ERASE)を押す

- 消去をしないときは、もう一度**消去ボタン(ERASE)**を押すか、**停止ボタン(■)**を押します。

3. 演奏/一時停止ボタン(▶/II)を押す

- 消去が始まります。
- 消去が終了するともとの表示に戻ります。

録音したあとにできること

指定した曲から最後の曲までを消去する(マルチトラック消去)

1. **消去したい CD-RW を入れる**

2. **消去ボタン(ERASE)を押す**

- 消去をしないときは、もう一度**消去ボタン(ERASE)**を押すか、**停止ボタン(■)**を押します。

3. **ジョグダイヤルを回して消去したい曲の範囲を選ぶ**

- ⏮◀◀/▶▶⏭ **ボタン**でも選べます。

例えば、全10曲録音してあるCD-RWの2曲目から最後の曲までを消去したいときは下記の表示を選びます。

- 消去しないときは、**消去ボタン(ERASE)**を押すか、**停止ボタン(■)**を押します。

4. **演奏 / 一時停止ボタン(▶/II)を押す**

- 消去が始まります。
- 消去が終了するともとの表示に戻ります。

ファイナライズしてある CD-RW を消去する CD-R

ファイナライズする前の状態に戻す(TOC消去)

1. **ファイナライズしてある CD-RW を入れる**

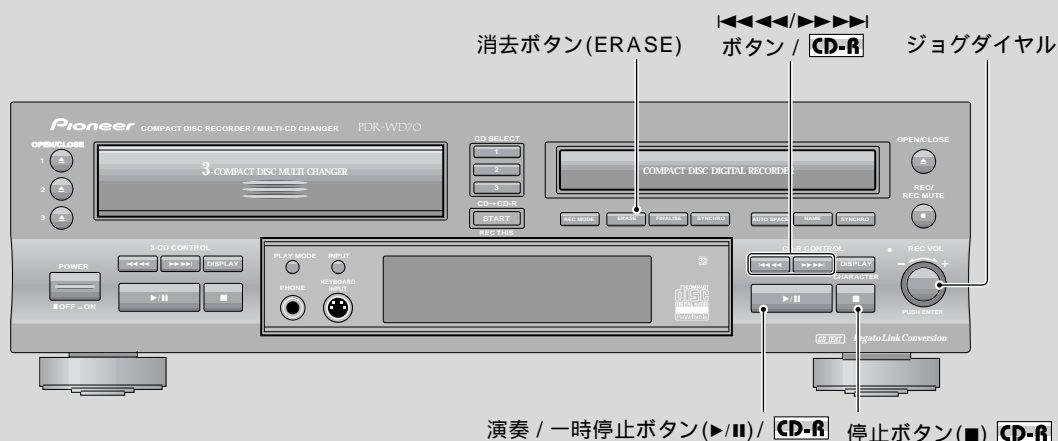
2. **消去ボタン(ERASE)を押す**

- 消去をしないときは、もう一度**消去ボタン(ERASE)**を押すか、**停止ボタン(■)**を押します。

3. **演奏 / 一時停止ボタン(▶/II)を押す**

- 消去が始まります。
- 表示部に消去が終了するまでの残り時間が表示されます。
- 消去が終了すると "**PMA REC**" と数秒間点滅して、自動的に停止します。

注意

◆ TOC消去をするとディスクにつけた名前も消去されます。

CD-RWに録音されているすべての曲を消去する(全曲消去) CD-R

ファイナライズしていないCD-RWは数秒で終了します。ファイナライズしてあるCD-RWは数分で終了します。

1. 消去したいCD-RWを入れる

2. 消去ボタン(ERASE)を押す

- 消去をしないときは、もう一度**消去ボタン(ERASE)**を押すか、**停止ボタン(■)**を押します。

3. ジョグダイヤルを回して"ALL ERASE?"を選ぶ

- ⏮◀◀◀/▶▶▶⏭**ボタン**でも選べます。

- 消去しないときは、**消去ボタン(ERASE)**を押すか、**停止ボタン(■)**を押します。

4. 演奏/一時停止ボタン(▶/II)を押す

- 消去が始まります。
- ファイナライズしてあるCD-RWのときは表示部に消去が終了するまでの残り時間が表示されます。
- 消去が終了すると自動的に停止します。

CD-RWに記録されているすべての情報を消去する(ディスク消去) CD-R

ディスク消去は、CD-RWに録音できる最大時間の、約半分の時間がかかります。

1. 消去したいCD-RWを入れる

2. 消去ボタン(ERASE)を4秒間押し続ける

- 消去をしないときは**停止ボタン(■)**を押します。

3. 演奏/一時停止ボタン(▶/II)を押す

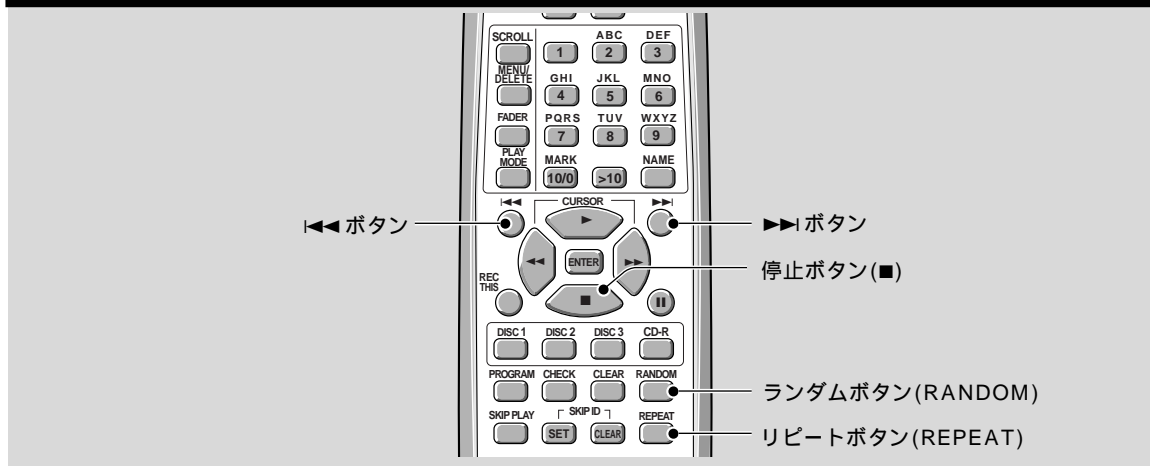
- 消去が始まります。
- 表示部に消去が終了するまでの残り時間が表示されます。
- 消去が終了すると自動的に停止します。

注意

◆ 消去作業を強制終了するには、**停止ボタン(■)**を10秒間押し続けて下さい。**このディスクを次に使用する時は、必ずディスク消去を行なってください。(強制終了したディスクは、正常に消去されていません。)**

◆ 消去中、"**CHECK DISC**"のメッセージが現れて消去が停止した場合、ディスクを取り出してキズや汚れ、ホコリがないことを確認し、再度消去を行なってください。

◆ 消去作業の後、電源を切る前には必ずディスクを取り出してください。
本体にディスクを残したまま電源を切ってしまうと、消去されないことがあります。

いろいろな演奏のしかた

順不同に演奏する(ランダム演奏) 3-CD / CD-R

曲を無作為に選んで 1 回ずつ演奏します。リモコンで操作します。

演奏中にランダム(RANDOM)ボタンを押す

- "RDM" インジケーターが点灯します。
- ランダム演奏を始めます。
- 3枚CDチェンジャーでは、演奏モード(P.19–20)によって下記のようにランダム演奏します。

ALL→ディスクトレイ 1/2/3 に入っているすべてのディスクの全曲を無作為に選んで演奏します。
SINGLE→ 選択されているディスクの全曲を無作為に選んで演奏します。
RELAY→ ランダム演奏をすることはできません。ランダム演奏中、演奏モードを"RELAY"にするとランダム演奏は解除されます。

ランダム演奏を解除する

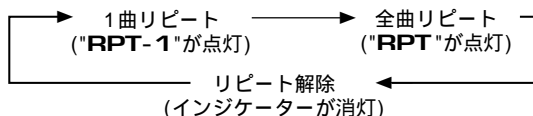
停止ボタン(■)を押す

- 演奏が停止して、ランダム演奏は解除されます。

メモ

- ***ランダムリピート演奏***
  ランダム演奏中に**リピートボタン(REPEAT)**を押すと、ランダム演奏を繰り返し行います。

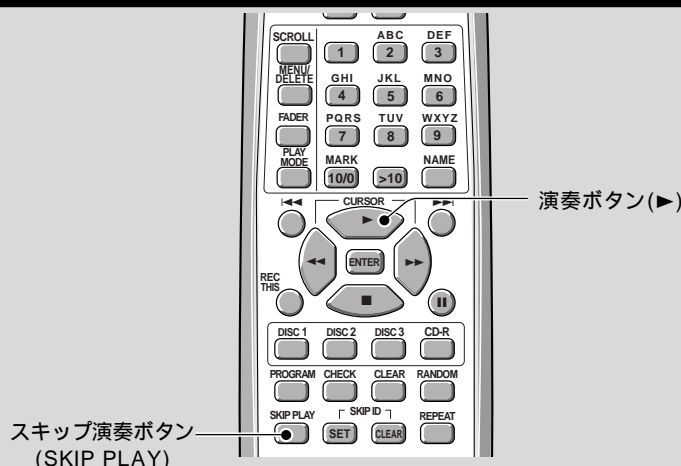
繰り返し演奏する(リピート演奏) 3-CD / CD-R

演奏している 1 曲だけを繰り返す 1 曲リピートとディスクの全曲を繰り返す全曲リピートがあります。リモコンで操作します。**リピートボタン(REPEAT)**押すごとに、下記のように切り換わります。

停止中、または演奏中にリピートボタン(REPEAT)を押す

- 3 枚 CD チェンジャー では、演奏モード(P.19–20)によって下記のように全曲リピート演奏をします。

ALL→ディスクトレイ 1/2/3 に入っているすべてのディスクの全曲を繰り返し演奏します。
SINGLE→ 選択されているディスクの全曲を繰り返し演奏します。
RELAY→ リピート演奏をすることはできません。リピート演奏中、演奏モードを"RELAY"にするとリピート演奏は解除されます。

メモ

- ***プログラムリピート演奏***
  プログラム演奏中に**リピートボタン(REPEAT)**を押すと、プログラムされている曲をリピート演奏します。
- 1 曲リピート中にリモコンの |◀◀/▶▶| **ボタン**を操作して別の曲を選んだときは、その曲を繰り返し演奏します。

聴きたくない曲を飛ばして演奏する(スキップ演奏) 3-CD/CD-R

聴きたくない曲をスキップ情報の設定によって、演奏中スキップさせることができます。

1. スキップ情報を記録したディスクを入れる (P,36)

- スキップ情報を持つディスクは、"**SKIP ON**" インジケーターが自動的に点灯します。

```
CD-R 10 45:29
SKIP ON
```

- スキップ情報を持たないディスクは、"**SKIP ON**" インジケーターが点灯しません。

2. 演奏ボタン(►)を押す

- 演奏が始まります。
- スキップ情報を指定した曲は飛び越して演奏します。

スキップ演奏したくない場合

スキップ情報が指定されている曲を、飛び越さずに演奏することができます。

1. スキップ情報を記録したディスクを入れる (P,36)

- スキップ情報を持つディスクは、"**SKIP ON**" インジケーターが自動的に点灯します。

```
CD-R 10 45:29
SKIP ON
```

- スキップ情報を持たないディスクは、"**SKIP ON**" インジケーターが点灯しません。

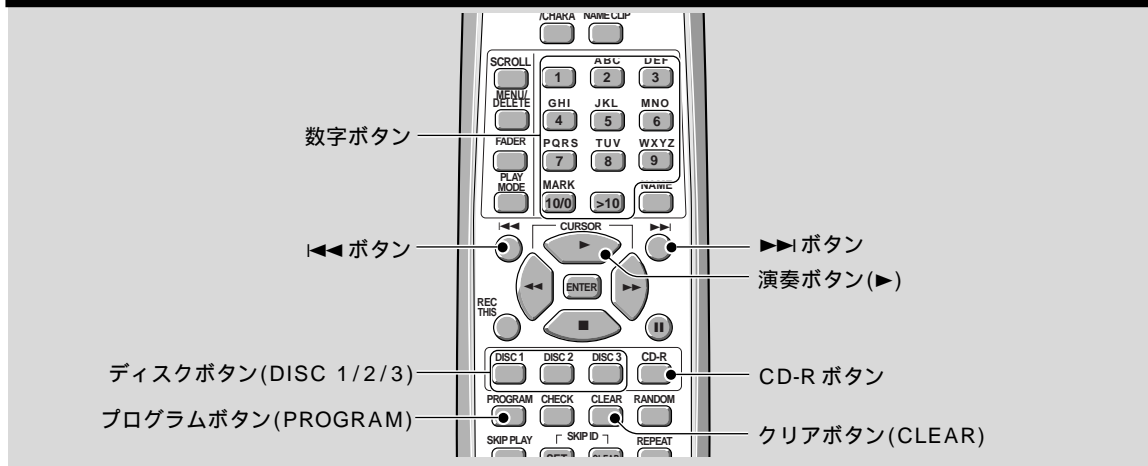
2. スキップ演奏ボタン(SKIP PLAY)を押す

- "**SKIP ON**" インジケーターが消灯します。

```
CD-R 10 45:29
```

- ディスクにスキップ情報が指定されていないと、**スキップ演奏ボタン(SKIP PLAY)**は受け付けません。

3. 演奏ボタン(►)を押す

- 演奏が始まります。
- スキップ情報を指定した曲も飛び越さずに演奏します。

好きな曲を選んで演奏する(プログラム演奏) 3-CD / CD-R

最大30曲までプログラムして演奏することができます。ただし、3枚CDチェンジャーに入れたCDの曲とCDレコーダーに入れたCDの曲を一緒にプログラムすることはできません。

例）演奏順をディスク3の6曲目、ディスク2の3曲目の曲順にする場合

1. 3枚CDチェンジャーに演奏したいディスクを入れて3枚CDチェンジャーの表示にする

- CDレコーダーでプログラム演奏したいときは、CDレコーダーにディスクを入れてCDレコーダーの表示にします。

2. 停止中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す

- "PGM" インジケーターが点灯します。

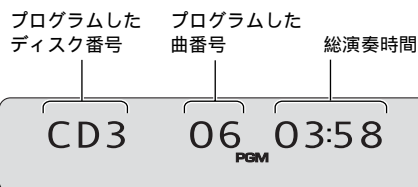
3. ディスク ボタン(DISC 1/2/3)を押す

- 例の場合は**ディスク3ボタン(DISC 3)**を押します。

CD3 TRK__?
PGM

- CDレコーダーのときは、手順3の操作は不要です。

4. 数字ボタンでプログラムしたい曲を選ぶ

- 例の場合は、**数字ボタン**の**6**を押します。

- 本体の⏮◀◀/▶▶⏭**ボタン**でも曲を選択できます。その場合、曲を選択した後に**プログラムボタン(PROGRAM)**を押して下さい。

5. 手順3と4を繰り返して、他の曲をプログラムする

- 例の場合は、**ディスク2ボタン(DISC 2)**を押してから、**数字ボタン**で**3**を押します。
- プログラム中に曲番を間違えたときは**クリアボタン(CLEAR)**を押します。最後にプログラムした曲から順に消えていきます。
- CDレコーダーのときは手順4を繰り返して他の曲をプログラムします。

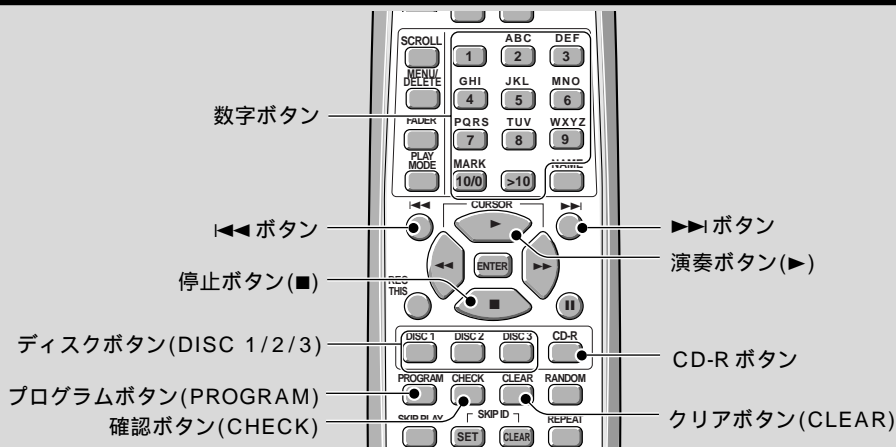
6. 演奏ボタン(▶)を押す

- 演奏が始まります。
- プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動的に停止します。

メモ

- プログラム演奏中に⏮/⏭ **ボタン**を押すと、プログラムされた別の曲に移ります。

注意

◆ プログラムのトータル時間が、99'59"以上のときは、プログラムのトータル時間は表示されません。

演奏中にプログラムする(ダイレクトプログラム)

演奏中に曲をプログラムすることができます。

1. ディスクの演奏中にプログラムボタン(PROGRAM)を押す

"PGM" インジケーターが点滅します。

2. ディスクボタン(DISC 1/2/3)を押して、演奏したい CD を選ぶ

- CD レコーダーでプログラム演奏をするときは、CD レコーダーを演奏させておきます。

3. 数字ボタン、または|◀◀/▶▶|ボタンでプログラムしたい曲を選ぶ

4. プログラムボタン(PROGRAM)を押す

"PGM" インジケーターが点灯に変わります。

5. 手順 2～4 を繰り返して、他の曲をプログラムする

- CDレコーダーに他の曲をプログラムするときは、**手順 3～4** を繰り返します。

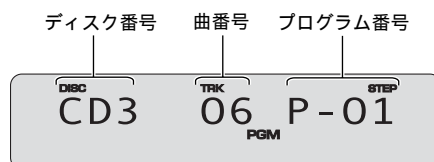
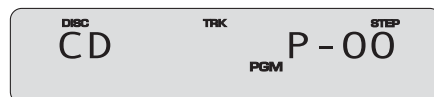
6. プログラムの登録が終了したら、停止ボタン(■)を押す

7. 演奏ボタン(▶)を押す

- プログラムした順に演奏が始まります。

プログラムした内容を確認する

CD の停止中に確認ボタン(CHECK)を押す

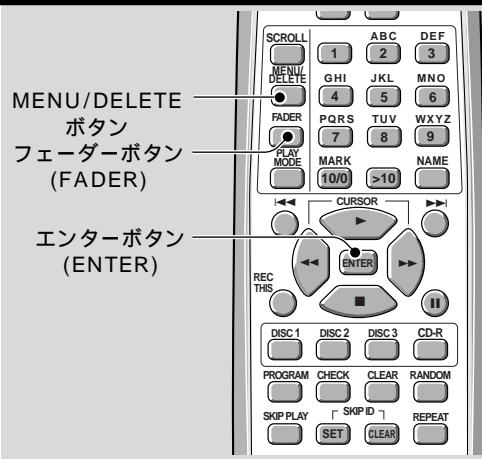
- 表示部にプログラムされているディスク番号と曲番号が表示されます。**確認ボタン(CHECK)**を押すごとに、次にプログラムされているディスク番号と曲番号の表示に切り換わります。

- 最後のディスク番号と曲番号を表示しているときに**確認ボタン(CHECK)**を押すと表示部に "**CD P-00**" と表示されます。もう一度押すと 1 曲目のディスク番号と曲番号を表示します。

プログラム内容を 1 曲だけ消す

CD の停止中にクリア(CLEAR)ボタンを押す

- 最後にプログラムした曲から順に消えます。

プログラムを解除する

下記のいずれかの操作ですべてのプログラムを解除することができます

- 停止中に**停止ボタン(■)**を 1 回押す。
- **演奏モードボタン(PLAY MODE)**を押す。
- **ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲ 1/2/3)**のいずれかを押す(CDレコーダーのプログラム内容を消去するときは、CD レコーダーの**ディスクトレイ開閉ボタン(OPEN/CLOSE ▲)**を押します)。

曲の初めと終わりの音量を調整して演奏する(フェード演奏) CD-R

だんだんと音量を上げて演奏を開始する(フェードイン)

リモコンで操作します。

一時停止中にフェーダーボタン(FADER)を押す

- フェードインしながら演奏を開始します。
- "**FADER**" インジケーターが点滅します。

だんだんと音量を下げて演奏を終了する(フェードアウト)

演奏中にフェーダーボタン(FADER)を押す

- フェードアウトして一時停止状態になります。
- "**FADER**" インジケーターが点滅します。

フェードイン、フェードアウトの時間を設定する CD-R

録音時、再生時のフェードイン、フェードアウトの時間を設定することができます。時間は 1 秒〜 12 秒の範囲で設定できます。初期設定は 5 秒です。

1. メニューボタン(MENU/DELETE)を押す

2. ジョグダイヤルを回して設定表示にする

FADER 5sec

3. ジョグダイヤルを押す

4. ジョグダイヤルを回して設定時間を選ぶ

- 左へ回すと設定時間が減り、右へ回すと設定時間が増えます。

5. エンター(ENTER)ボタンを押す

- "**?**"が消灯してフェードイン/アウト時間が設定されます。

メモ

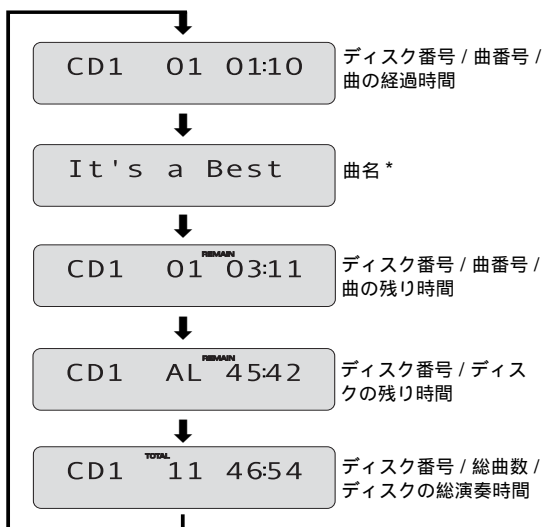
- フェードイン、フェードアウトの時間は、別々に設定できません。
- 電源をオフにした後も、設定した時間は本体に記憶されています。

表示を切り換える

3枚CDチェンジャー、CDレコーダーの**ディスプレイボタン(DISPLAY)**、またはリモコンの**DISPLAY/CHARAボタン**を押すごとに、表示部のディスクの時間表示やCDテキスト情報の内容を切り換えることができます。

表示 ① 3-CD / CD-R

3枚CDチェンジャー、またはCDレコーダーが演奏中は下記のように切り換わります。

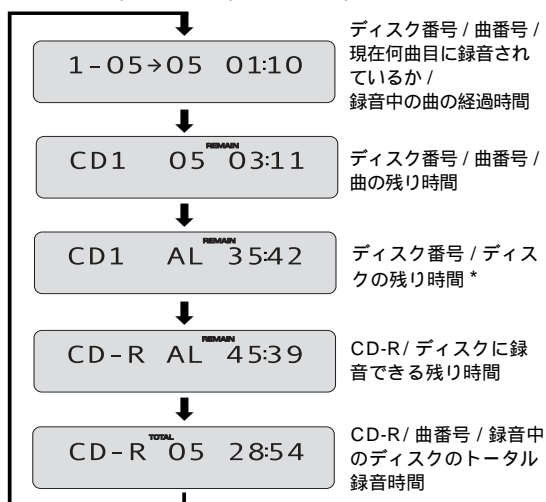
例)3枚CDチェンジャーが演奏中の場合
(3枚CDチェンジャーの**ディスプレイボタン(DISPLAY)**を押します)

● ＊が表示されるのは、CDテキスト入りディスクを演奏したときのみです。

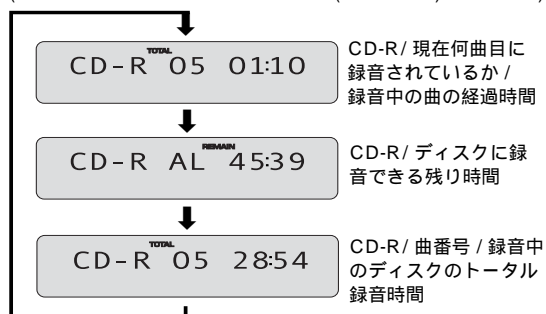
注意

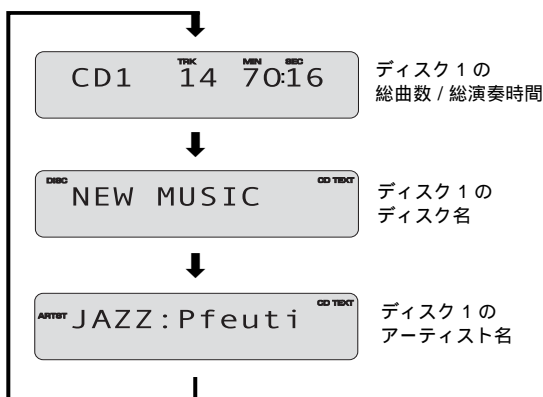
◆ 表示は3枚CDチェンジャー、またはCDレコーダーの動作状況によって多少異なりますが、表示される内容はどの動作状況でも同じです。

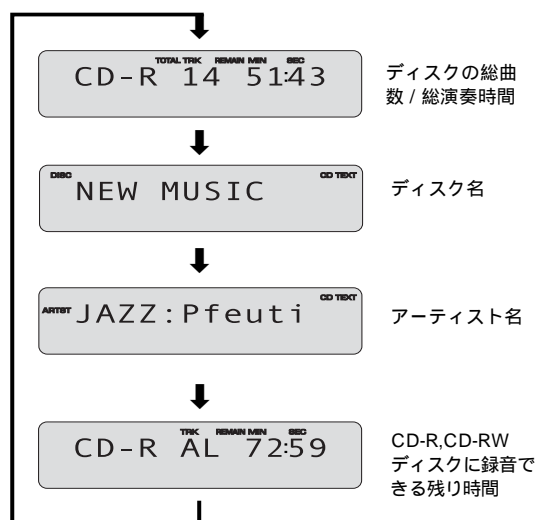
表示 ② CD-R

CDレコーダーが録音中、および外部機器との録音中は下記のように切り換わります。

例)CDレコーダーが3枚CDチェンジャーから録音中の場合
(3枚CDチェンジャー、またはCDレコーダーの**ディスプレイボタン(DISPLAY)**を押します)

● ＊が表示されるのは、ワンタッチ録音、ディスク録音、プログラム録音のみです。

■ 外部機器との録音中は、下記のように表示します。
(CDレコーダーの**ディスプレイボタン(DISPLAY)**を押します)

表示 ③ 3-CD / CD-R

3 枚 CD チェンジャーが停止中は、下記のように切り換わります。(3 枚 C D チェンジャーの**ディスプレイボタン (DISPLAY)**を押します)

*ディスク2、ディスク3にディスクが入っている場合は、それぞれの総曲数/総演奏時間、ディスク名、アーティスト名を続けて表示します。ディスク 3 を表示後、ディスク 1 に戻ります。

■ CD レコーダーが停止中の場合は、下記のように切り換わります。(C D レコーダーの**ディスプレイボタン (DISPLAY)**を押します)

*NEW DISC の場合は"**NEW DISC**"と表示した後、録音できる残り時間を表示します。

メモ

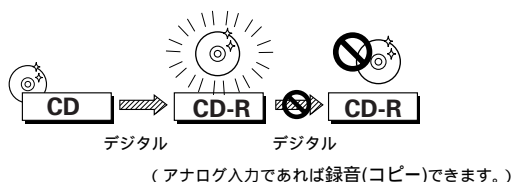
- 3枚CDチェンジャー、またはCD レコーダーが停止中に ⏮/⏭ **ボタン**を押すと、それぞれの曲の時間、もしくは曲名を表示します。ただし、3枚CDチェンジャー側は1枚のディスクのうち30曲までしか表示されません。それ以上は"**00:00**"と表示されます。
- 表示される文字は最初の12文字までです。表示をスクロールさせるときはリモコンの**スクロールボタン(SCROLL)**を押してください。

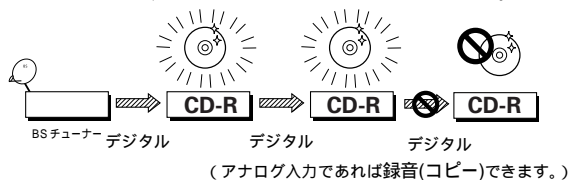
外部機器と接続して録音する

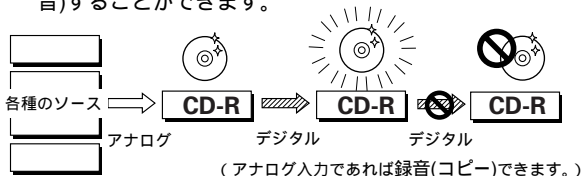
SCMSについて

デジタル入力で録音(コピー)したものを、さらに別のMDやCD-R/CD-RWなどにデジタル録音(コピー)することはできません。これはSCMSにより定められているためです。
SCMSとは、シリアルコピーマネージメントシステム(Serial Copy Management System)の略で、デジタル信号による録音(コピー)を「何世代まで」と規制している方式です。ソースによって「何世代まで」録音(コピー)できるかが異なります。

1. 著作権のあるCDやDATミュージックテープは一世代だけデジタル録音できます。

（アナログ入力であれば録音(コピー)できます。）

2. 衛星放送のデジタル信号は二世代までデジタル録音(コピー)することができます。ただし、BS/CSチューナーによっては、二世代目ができないことがあります。

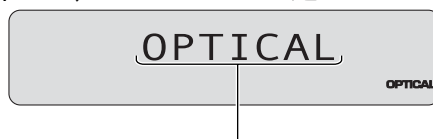
（アナログ入力であれば録音(コピー)できます。）

3. アナログ入力で録音(コピー)されたディスクは、録音元のソースに係わらず一世代までデジタルコピー(録音)することができます。

（アナログ入力であれば録音(コピー)できます。）

注意

◆ デジタル録音中にコピー禁止信号が検出されると、録音(コピー)が一時停止し、"**Can't REC**"と表示します。録音(コピー)が再び許可されると録音(コピー)を再開します。

デジタル録音の許可／禁止状態を調べる(モニターのしかた)

例）光デジタル入力端子(OPTICAL IN)に外部機器を接続している場合

1. 停止中に入力切換ボタン(INPUT)を押して、"OPTICAL"を選ぶ

OPTICAL→CD→44K→MONITORの順で表示
(左から、音声入力の種類 → 入力されている機器の名前 → サンプリング周波数 →MONITOR)

2. 演奏側の機器を演奏する

- "**Can't REC**"と表示されなければ、録音可能です。

- デジタル接続をしていないときは"**D.IN UNLOCK**"と表示されます(**P.58参照**)。

注意

◆ デジタル録音しようとしているソースの種類によって、サンプリング周波数が異なります(32k/44k/48k)。
◆ 入力されている機器の名前は、入力ソースがCD、MD、DAT、DCC、DVDで、デジタル接続されているときのみ表示します。
◆ CD、CDV、またはLDなどからデジタル録音するときは、演奏する機器の名前はすべて"**CD**"と表示されます。

外部機器と録音するときの録音レベルを調整する CD-R

アナログ録音するときは、必ず録音レベルを調整してください。デジタル録音するときは、通常デジタル入力の録音レベルを調整する必要はありませんが、下記のようなとき調整することをおすすめします。

- 衛星放送をデジタル録音するとき(メモ)
- 音量レベルが小さいMDやCDなどからデジタル録音するとき

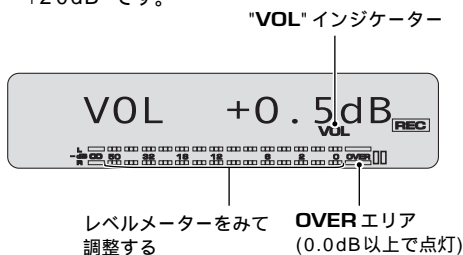
1. 入力切換ボタン(INPUT)を押して、録音したい機器を接続している入力を選ぶ

2. 録音したい機器を演奏する

3. ジョグダイヤルを押す

- "**FIX**" インジケーターと本体の**録音ボリュームインジケーター**が消灯します。
- "**FIX**"インジケーターは押すたびにオン/オフが切り換わります。

4. ジョグダイヤルを回す

- 録音レベルを調整します。録音レベルが初期値(0.0dB)以外に調整されると、表示部に"**VOL**" インジケーターが点灯します。
- 録音レベルは、一番大きな音が入力されたときに"**OVER**"エリアが点灯しないように調整します。
- デジタル録音レベルの調整範囲は、"**MIN ～ +20dB**" です。

録音レベルを初期値(0.0dB)に戻す

録音レベルを表示中、ジョグダイヤルを約3秒間押し続ける

- "**VOL**" インジケーターが消灯します。

メモ

- CSやBS放送などからデジタル録音すると、市販のCDからの録音に比べ音声レベルが低く録音される傾向があります。これは、放送局から出力される音声レベルが低いためです。故障ではありません。
- 録音レベルの設定は各入力ごとに設定することができます。
- 電源をオフにした後も、設定したレベルは各入力ごとに本体に記憶されています。

注意

◆ 録音レベルを調整した後、続けてシンクロ録音をするときは、演奏している機器を停止させてから行ってください。

◆ HDCDやDTS CDを録音するときは、デジタル入力の録音レベルを0.0dB(初期値)にしてください。

◆ FIX の状態でジョグダイヤルを回すと、"**VOL FIX**" と表示が点滅します。その間にジョグダイヤルを押したときも FIX はオフになります。

シンクロボタン
(SYNCHRO)

シンクロ録音のしかた CD-R

外部接続しているデジタル機器(CD、MD、DAT、DCC)、またはアナログ機器とシンクロして、簡単に録音することができます(デジタル録音禁止信号が検出された曲はデジタル録音できません([SCMS(**P.47**)])。
3枚CDチェンジャー、およびCDレコーダーが停止しているときに**シンクロボタン(SYNCHRO)**を押すと下記のように切り換わります。

● **1曲シンクロ録音** → 外部接続している機器の演奏を始めると、1曲だけを自動的に録音します(**P.50**)。

SYNC-1　SYNC-1 REC

⬇

● **全曲シンクロ録音** → 外部接続している機器の演奏を始めると、全曲を自動的に録音します(**P.50**)。

SYNC-ALL　SYNC REC

⬇

● **自動ファイナライズ シンクロ録音** → 全曲シンクロ録音した後、自動的にファイナライズをします(**P.51**)。

SYNC-FINAL　FINALIZE SYNC REC

注意

外部機器とシンクロ録音するときの注意 (デジタル / アナログ共通)

◆ 3枚CDチェンジャーは必ず停止させてください。
◆ 録音速度を切り換えることはできません。1倍速録音のみとなります。
◆ 曲番号の更新は自動と手動が選べます(**P.55**)。
◆ **オートスペース機能**の設定(**P.24**)はできません。
◆ 5秒以上音が検出されないとすべての録音を終了したと判断し、録音を一時停止します。もう一度、音が検出されると録音を再開します(1曲シンクロ録音はシンクロ解除になり録音を再開しません)。
◆ 録音中の音声を聴きながら録音することができます。音声は後面部の音声出力端子(LINE OUT、OPTICAL OUT、COAXIAL OUT)、または前面部のヘッドホン端子(PHONES)から出力されます。
◆ 録音中、"**PMA REC**" と表示されているときは電源を切らないでください。停電や誤って電源コードを抜いてしまってときは、録音した最後の部分は記録(録音)されません。

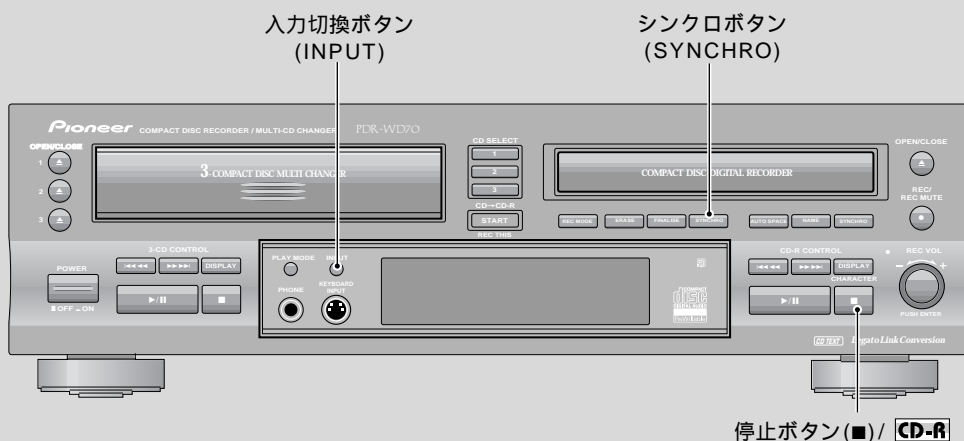
デジタルシンクロ録音するときの注意

◆ DAT、DCCテープのスタートIDは、必ず音声よりも前に入力してください。スタートIDが入力されていない場合は録音がはじまりません。
◆ DATやDCCなどをプログラム演奏してシンクロ録音しないでください。曲番号が正しく更新されないことがあります。プログラムをして録音したいときは、1曲ごとに録音をしてください。
◆ 詳しい注意については **P.60** 注意 をご覧ください

アナログシンクロ録音するときの注意

◆ 曲番号の更新は、自動的に2秒以上の無音部分*を検出し、その後音声が入力されたときに行われます。
◆ アナログシンクロ録音は音による検出をしているため正しく動作しないことがあります。あらかじめ確認してから録音することをおすすめします。
・外部機器からの音声がクラシック音楽や会話など(音量が小さい、無音部分*が続く、または無録音部分にノイズがある音声など)のときは曲番号の更新が正しくできないことがあります。
・1曲シンクロ録音では、2秒以上の無音部分*を曲間と判断して録音を終了します。

＊ 無音部分の調整については **P.54**「曲番号を自動更新するレベルを調整する」をご覧ください。

外部機器と接続して録音する

1曲のみシンクロ録音する(1曲シンクロ録音)

例）光デジタル入力端子(OPTICAL IN)にCDプレーヤーを接続している場合

1. CDレコーダーに録音できるCD-R、またはCD-RWを入れる

2. 入力切換ボタン(INPUT)を押して、"OPTICAL"を選ぶ

- "**OPTICAL**" インジケーターが点灯します。
- モニターを始めます(**P.47**)。
- 録音レベルを調整することができます(**P.48**)。

3. シンクロボタン(SYNCHRO)を1回押す

- "**SYNC**" インジケーターが点滅します。

SYNC-1

4. CDプレーヤーの演奏を始める

- 音が検出されると自動的に録音が始まります。
- 曲が終わると1曲シンクロを解除して、自動的に録音が一時停止します。

1曲シンクロ録音を終了する

停止ボタン(■)を押します。

- 表示部に"**PMA REC**"と表示され、ディスク情報を記録してから停止します。

すべての曲をシンクロ録音する(全曲シンクロ録音)

例）光デジタル端子(OPTICAL IN)にCDプレーヤーを接続している場合

1. CDレコーダーに録音できるCD-R、またはCD-RWを入れる

2. 入力切換ボタン(INPUT)を押して、"OPTICAL"を選ぶ

- "**OPTICAL**" インジケーターが点灯します。
- モニターを始めます(**P.47**)。
- 録音レベルを調整することができます(**P.48**)。

3. シンクロボタン(SYNCHRO)を2回押す

- "**SYNC**" インジケーターが点滅します。

SYNC-ALL　SYNC REC

4. CDプレーヤーの演奏を始める

- 音が検出されると自動的に録音が始まります。
- 演奏が終わると全曲シンクロモードのまま、自動的に録音が一時停止します。

この状態で　CDプレーヤーの演奏を再開すると、自動的に録音が開始されますのでご注意ください。

全曲シンクロ録音を終了する

停止ボタン(■)を押します。

- 表示部に"**PMA REC**"と表示され、ディスク情報を記録してから停止します。

外部機器と接続して録音する

全曲シンクロ録音した後に自動的にファイナライズさせる(自動ファイナライズシンクロ録音)

例） 光デジタル端子(OPTICAL IN)にCDプレーヤーを接続している場合

1. CD レコーダーに録音できる CD-R、または CD-RW を入れる

2. 入力切換ボタン(INPUT)を押して、"OPTICAL" を選ぶ

- "**OPTICAL**" インジケーターが点灯します。
- モニターを始めます(**P.47**)。
- 録音レベルを調整することができます(**P.48**)。

3. シンクロボタン(SYNCHRO)を 3 回押す

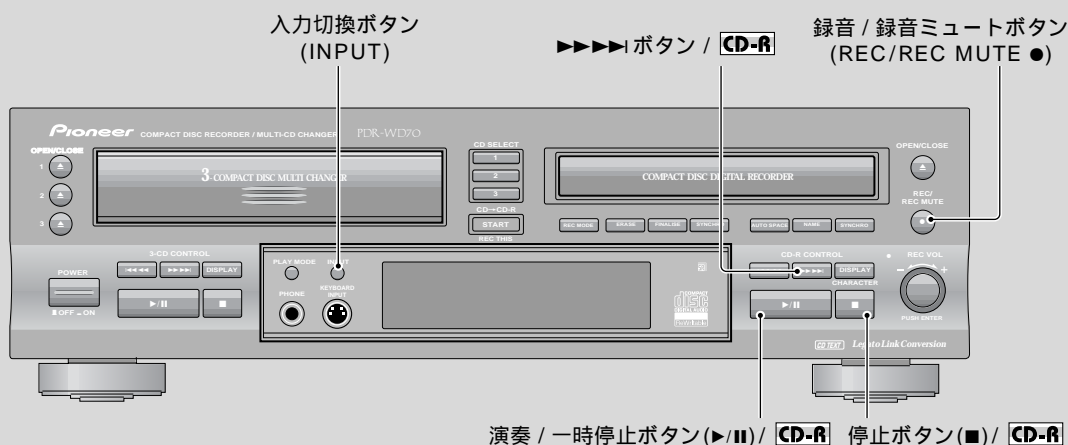
- "**SYNC**"、および "**FINALIZE**" インジケーターが点滅します。

4. CD プレーヤーの演奏を始める

- 音が検出されると自動的に録音が始まります。
- 演奏が終わると自動ファイナライズシンクロ録音のまま、自動的に録音が一時停止します。**この状態で　CD プレーヤーの演奏を再開すると、自動的に録音が開始されますのでご注意ください。**
- 1 分以上音が検出されないと自動的にファイナライズを始めます。
- ファイナライズが終了すると、自動的に録音は停止します。
- ファイナライズが開始されるまでは、**停止ボタン(■)**を押すとファイナライズを解除することができます。

注意

◆ CD-R、または CD-RW ディスクに録音中、ディスクに録音できる時間がなくなったときはファイナライズをして録音を終了します。

外部機器と接続して録音する

マニュアル録音のしかた CD-R

CD、MD、DAT、DCC プレーヤー以外(BS チューナーなど)の外部接続しているデジタル機器からデジタル録音する

1. CD レコーダーに録音できる CD-R、または CD-RW を入れる

2. 入力切換ボタン(INPUT)を押して、"OPTICAL"、または"COAXIAL"を選ぶ

- 選んだ入力のインジケーター("**OPTICAL**"、または "**COAXIAL**")が点灯します。

3. 録音 / 録音ミュートボタン(REC/REC MUTE ●)を押す

- 録音一時停止状態になります。
- 録音レベルを調整することができます(**P.48**)。

4. CD レコーダーの演奏 / 一時停止ボタン(►/II)を押す

- 録音が始まります。

5. 外部接続している機器の演奏を始める

- 曲番号の手動更新が選ばれている場合は、CD レコーダーの ►►/►►| **ボタン**を使って行います。
- 録音が終了したら、CD レコーダーの**停止ボタン(■)**を押します。表示部に"**PMA REC**"と表示され、ディスク情報を記録してから停止します。

カセットデッキなどのアナログ機器から録音する

1. CD レコーダーに録音できる CD-R、または CD-RW を入れる

2. 入力切換ボタン(INPUT)を押して、"ANALOG" を選ぶ

"**ANALOG**" インジケーターが点灯します。

3. 録音 / 録音ミュートボタン(REC/REC MUTE ●)を押す

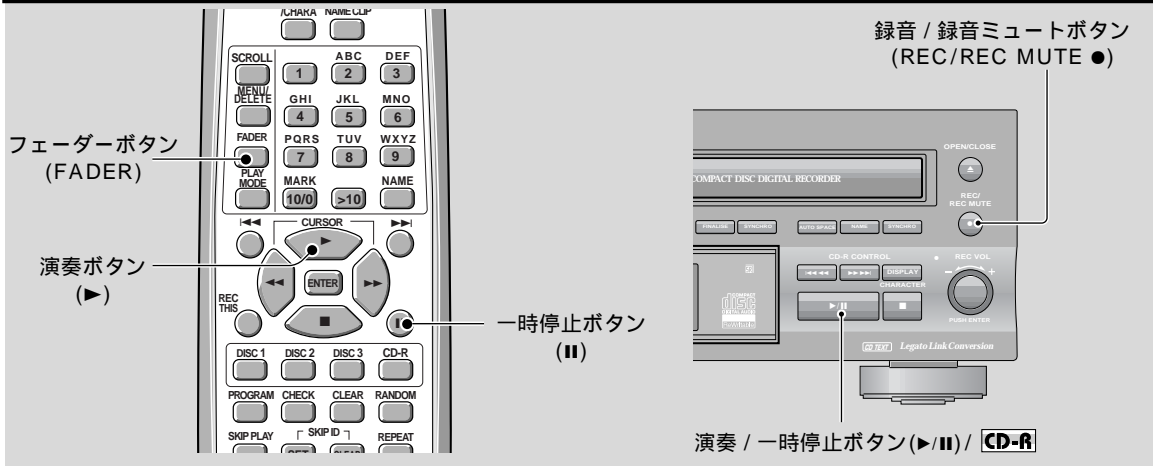
- 録音一時停止状態になります。
- 録音レベルを調整することができます(**P.48**)。

4. CD レコーダーの演奏 / 一時停止ボタン(►/II)を押す

- 録音が始まります。

5. 外部接続している機器の演奏を始める

- 曲番号の手動更新が選ばれている場合は、CD レコーダーの ►►/►►| **ボタン**を使って行います。
- 録音が終了したら、CD レコーダーの**停止ボタン(■)**を押します。表示部に"**PMA REC**"と表示され、ディスク情報を記録してから停止します。

知っていると便利な録音のしかた

曲の初めと終わりの音量を調整して録音する(フェード録音) CD-R

リモコンで操作します。

だんだんと音量を上げて録音を開始する(フェードイン)

マニュアル録音一時停止中にフェーダーボタン(FADER)を押す

- フェードインしながら録音を開始します。
- フェード中は"**FADER**" インジケーターが点滅します。

だんだんと音量を下げて録音を終了する(フェードアウト)

マニュアル録音中にフェーダーボタン(FADER)を押す

- フェードアウトして一時停止状態になります。
- フェード中は"**FADER**"インジケーターが点滅します。

メモ

- 本機は録音中、録音の残り時間が3秒以下になった場合、自動的にフェードアウトして録音を終了します。これは出来上がったディスクを演奏中、最後で突然音が途切れるのを防ぐためです。
- フェードイン、フェードアウトの時間は1秒〜12秒の間で自由に設定することができます。設定のしかたは44ページをご覧ください。

録音を一時停止する

一時的に録音を停止するには一時停止ボタン(II)を押す

- 再度録音を開始するには、**一時停止ボタン(II)**か**演奏ボタン(►)**を押します。

曲の終わりに無音の部分をつくる CD-R

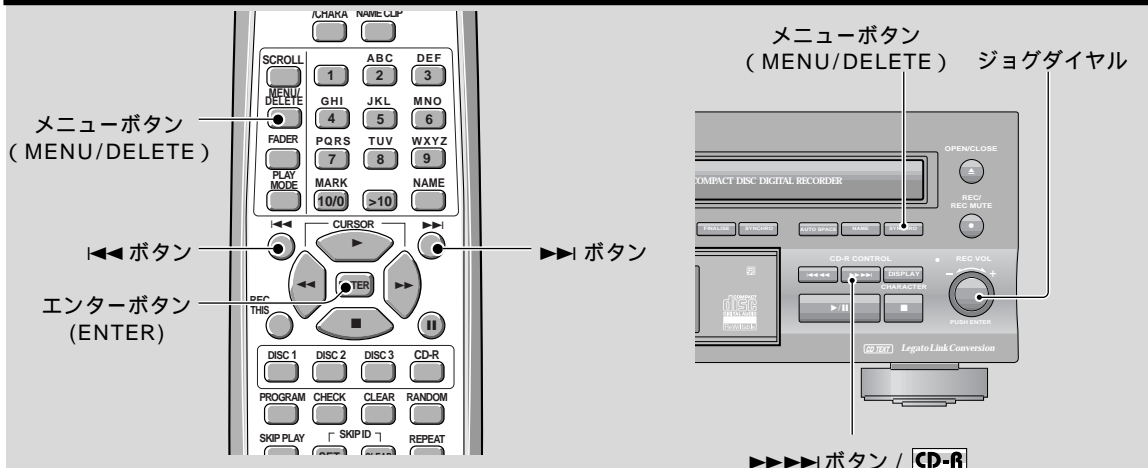
録音中、または録音一時停止中に録音 / 録音ミュートボタン(REC/REC MUTE ●)を押す

- "**REC**"インジケーターが点滅し、無音の録音を開始します。約4秒後、自動的に録音が一時停止します。

メモ

- 4秒以上の無音部分をつくるときは、**録音 / 録音ミュートボタン(REC/REC MUTE ●)**を押し続けます。好みの場所でボタンを離すと録音が一時停止します。

注意

◆ **録音 / 録音ミュートボタン(REC/REC MUTE ●)**は録音中か、録音状態から録音スタンバイ状態になったときに一度だけ有効です。停止状態から録音スタンバイ状態に入ったときや、一度無音部分をつくった後では、**録音 / 録音ミュートボタン(REC/REC MUTE ●)**は働きません。

オートトラック機能

録音中に音楽信号やデジタル信号の検出によって、曲番号を自動的に更新する機能です。

曲番号を自動更新するレベルを調整する

曲の切り換わりを判別する音の検出レベルを設定することができます。

1. メニューボタン(MENU/DELETE)を押す

2. ジョグダイアルを回して、"A.LVL –54dB"を選ぶ

- リモコンの⏮◀◀ ▶▶⏭**ボタン**でも選択できます。

3. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

- "**設定値**"と"**?**"が点滅します。

4. ジョグダイアルを回して、音の検出レベルを選ぶ

- リモコンの⏮◀◀ ▶▶⏭**ボタン**でも選択できます。
- **–24dB**、**–30dB**、**–36dB**、**–42dB**、**–48dB**、**–54dB**、**–60dB**、**–66dB**、**–72dB**、**–78dB**を選択することができます。
  アナログの場合は、**–24dB** ～ **–66dB**の範囲で選択できます。
- 選んだレベルで曲番号が自動更新されるかを確認することができます(**P.55**)。

–24dB –30dB –36dB –42dB –48dB –54dB –60dB –66dB –72dB –78dB

無音部分にノイズがあっても 検出しやすい設定 ⟷ 無音部分にノイズがあると検出しずらい設定

5. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

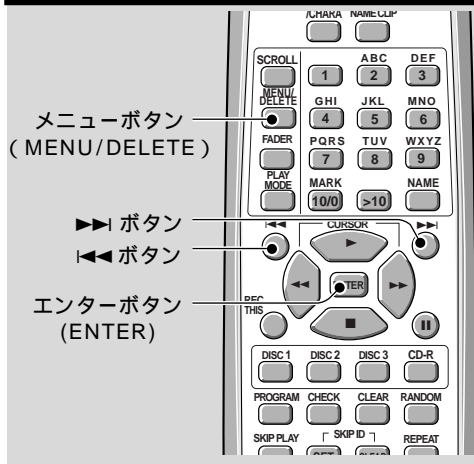
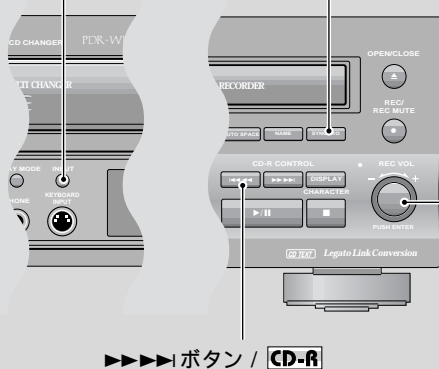
- "**?**"が消灯して音の検出レベルが設定されます。
- **メニューボタン(MENU/DELETE)**を押すともとの表示に戻ります。

メモ

- 初期設定は –54dB です。
- 電源をオフにした後も、設定したレベルは本体に記憶されています。
- 音の検出レベルの設定は各入力ごとに設定することができます。

注意

◆ CD、MD、DAT、DCC、とデジタルで接続している場合は、音の検出レベルの設定値は無効になり、接続している機器からのデジタル信号によって自動で更新します。

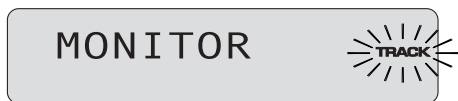
知っていると便利な録音のしかた

曲番号が自動更新するか確認する

1. 入力切換ボタン(INPUT)を押して録音したい入力を選ぶ

● 押すたびに下記のように切り換わります。
"ANALOG" ➡ "OPTICAL" ➡ "COAXIAL"

2. 録音したい機器の演奏を始める

● 曲番号が更新されるポイントでは、"TRACK" が点滅します。

MONITOR

● 曲の切り換わりでないところで"TRACK"が点滅したり、全く点滅しないようなら音の検出レベルを再調整してください。

曲番号を手動更新する

好きなときに曲番号を更新したいときは、更新モードをマニュアル(AUTO TRK OFF)に設定します。"MANUAL TRACK" インジケーターが点灯します。

録音中に曲番号を更新したい場所で ▶▶ ▶▶| ボタンを押す

● 録音が始まって4秒以上経過したあとから、曲番号の更新ができます。曲番号更新後4秒間は曲の更新はできません。

曲番号の更新を自動 / 手動に切り換える

曲番号の更新を自動にするか手動にするかを切り換えます。初期設定は自動(オン)です。

1. メニューボタン (MENU/DELETE) を押す

2. ジョグダイアルを回して、"A.TRACK ON" を選ぶ

● リモコンの|◀◀ ▶▶|ボタンでも選択できます。

A.TRACK ON CD-R

3. ジョグダイアル、またはエンターボタン(ENTER)を押す

● "ON/OFF" と "?" が点滅します。

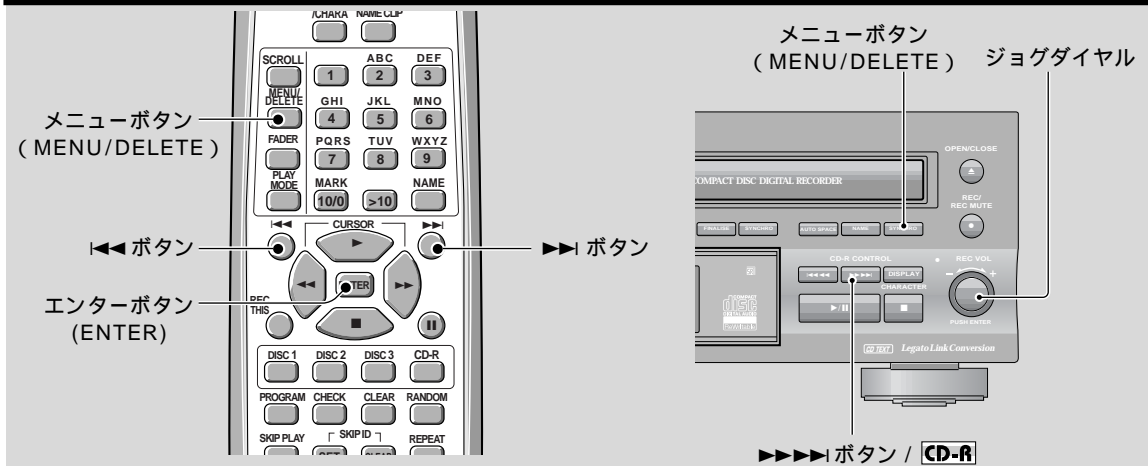
4. ジョグダイアルを回して、ON/OFF を選ぶ

5. ジョグダイアル、またはエンターボタン(ENTER)を押す

● "?" が消灯します。
● メニューボタン(MENU/DELETE)を押すともとの表示に戻ります。

メモ

● 電源をオフにした後も、設定したレベルは本体に記憶されています。

知っていると便利な録音のしかた

一定の時間ごとに曲番号をつける

曲番号を信号の検出に関係することなく、設定した時間ごとに、自動で更新することができます。この機能をタイムトラックインクリメントといいます。タイムトラックインクリメントでの録音は曲番号の自動更新モード(AUTO TRK ON)でのみ有効です(手動に設定されていた場合は自動に切り換わります)。

1. メニューボタン（MENU/DELETE）を押す

2. ジョグダイアルを回して、"T.INC OFF" を選ぶ

- リモコンの◀◀ ▶▶**ボタン**でも選択できます。

T.INC　　OFF

3. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

- " **設定値** " と "**?**" が点滅します。

4. ジョグダイアルを回して、トラックナンバーの更新時間を選ぶ

- リモコンの◀◀ ▶▶**ボタン**でも選択できます。
- 更新時間は OFF、1 分、3 分、5 分を選択することができます。

T.INC　5min?　CD-R

5. ジョグダイアルまたはエンターボタン(ENTER)を押す

- "**?**" が消灯して曲番号の更新時間が設定されます。
- **メニューボタン(MENU/DELETE)**を押すともとの表示に戻ります。

メモ

- 初期設定はオフです。
- 録音中は "**TRACK**" **インジケーター**が点滅します。
- 電源をオフにした場合や録音終了後、または曲番号の手動更新モードが設定されたときは、タイムトラックインクリメントの設定時間は OFF に戻ります。

こんな表示が出たときは

メッセージ	解 説	参照ページ
OPEN	ディスクトレイが開きます。	P.16-17
CLOSE	ディスクトレイが閉まります。	P.16-17
TOC READ	ディスク情報を読み込んでいます。しばらくお待ちください。	P.16-17
SYNC-1	１曲シンクロ録音の録音一時停止状態です。外部接続している機器が演奏を開始すると録音をはじめます。	P.49-50
SYNC-ALL	全曲シンクロ録音の録音一時停止状態です。外部接続している機器が演奏を開始すると録音をはじめます。	P.49-50
SYNC-FINAL	自動ファイナライズシンクロ録音の録音一時停止状態です。外部接続している機器が演奏を開始すると録音をはじめます。	P.49-51
CD (MD, DAT, DVD,DCC)	入力切換ボタン(INPUT)で選択した入力ソースを表示します。	
PMA REC	TOC情報をディスクのPMA(プログラム・メモリー・エリア)に記録中です。この表示が出ているときは、絶対に電源を切らないでください。	P.49
SKIP SET	スキップ情報を指定する曲を選択しています。スキップ情報を指定するときはスキップ セットボタンを押してください。	P.36-37
SKIP CLR	スキップ情報を解除する曲を選択しています。スキップ情報を解除するときはスキップ クリアボタンを押してください。	P.36-37
SKIP FULL	スキップ情報の指定、解除の回数が制限回数よりも多いため、これ以上スキップ情報を指定、解除することはできません。	P.36
REC FULL	ディスクの録音時間一杯に録音されている、またはすでに99曲録音されています。新しいディスクに入れ換えてください。	P.22
ERASE LAST	最終曲を消去します。消去するときは**演奏/一時停止ボタン**(▶/❚❚)を押してください。	P.38
ERASE ALL	全曲を消去します。消去する場合は**演奏/一時停止ボタン**(▶/❚❚)を押してください。	P.39
ERASE TOC	CD-RWディスクをファイナライズする前の状態に戻します。TOCを消去する場合は**演奏/一時停止ボタン**(▶/❚❚)を押してください。	P.38
INITIALIZE	ディスク上のすべての情報を消去します。消去する場合は**演奏/一時停止ボタン**(▶/❚❚)を押してください。	P.39
NEW DISC	新しい(未録音)CD-R/CD-RW です。録音はできますが、演奏はできません。	P.17
SET UP	録音待機中です。表示が消えるまでお待ちください。	
NO DISC	ディスクが入っていません。	

故障？ちょっと調べてください

故障かな？……と思う前にまずチェックしてみてください。不完全な整備やディスク不良、操作の不慣れなどにより故障したように思われることがあります。簡単なミスや勘違いを訂正したり、ちょっとしたお手入れによってトラブルが解決する場合は多いのです。以下の項をチェックしても症状が直らない場合は、お近くのパイオニア・サービスステーションにご連絡ください。

録音動作時関連のインフォメーション

表　示	原　因	対　応
Can't REC	コピー・ガード信号(SCMS)を含むデジタル信号が入力されている。	アナログ信号入力で録音する、または複製可能な音楽信号を録音する。
D,IN UNLOCK	外部接続している機器が正しく動作していない。 デジタル接続が正しくされていない。 CD-ROMなどのデータが入力されている。	外部接続している機器が正しく動作しているか確認する 正しくデジタル接続がされているか確認する。 ソースが通常の音楽信号かどうか確認する。
Can't SYNC	デジタル入力でシンクロ録音しようとしたときに、シンクロできない機器と接続している。	外部接続している機器をCD、MD、DAT、DCCのいずれかにする。
CHECK INPUT	シンクロ録音をするとき、すでに外部接続している機器の演奏が始まっている。	外部接続している機器の演奏を停止する。
REPAIR	録音終了後、ディスクを入れたまま電源をオフにして、そのまま放置したため、曲番号、および録音時間情報が消えてしまった。	"REPAIR"表示中、録音したエリアをトレースすることで、曲番号、および録音時間情報を修復します。表示が元の状態に戻ったら、録音やファイナライズが可能です。録音したエリアをトレースするには、最大に録音をしていた場合で約40分かかります。
Pro DISC	「FOR CONSUMER」表示のない業務用CD-R/CD-RWが入っている。	ディスクを取り出して確認してください。 「FOR CONSUMER」、「FOR CONSUMER USE」または「FOR MUSIC USE ONLY」表示のあるCD-R/CD-RWを入れてください。
RESUME	録音中に停電、または誤って電源を切ってしまったために、ディスクの追加録音を可能にするための修復作業を行っている。	メッセージが消えるまで、しばらくお待ちください。

自己診断機能について

本機は自己診断機能を持っていますので、動作中に不具合を検出すると表示部に下記のようなメッセージを表示します。

表　示	原　因	対　応
CHECK DISC	ゴミ、汚れ、キズまたは振動によって停止したと思われます。 ディスクが表裏逆に入れられていると思われます。	ディスクにゴミ、ホコリ、キズがないかディスクを取り出して確認してください。 ディスクを取り出して確認してください。 正しくディスクを入れても、繰り返し表示する場合は、電源コードを入れなおしてください。それでも繰り返し表示する場合は、弊社サービスにお知らせください。
CHECK 点滅	ノイズや静電気などでシステムに異常が発生したと思われます。	電源コードを入れなおしてください。 それでも繰り返し表示する場合は、弊社サービスにお知らせください。

故障？ちょっと調べてください

故障かな？と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。下の項目をチェックしても直らないときは、お近くのパイオニアサービスステーションまたはお買い上げの販売店にご連絡ください。

症　状	原　因	対　応
電源が入らない。	電源コードがコンセントから抜けている。 電源コードを接続した機器（AVアンプなど）の電源が入ってない。	電源コードをコンセントに正しく差し込んでください。 電源コードを接続した機器の電源を入れてください。
外部機器からの録音ができない	接続が正しくされていない。 ファイナライズ済みのCD-R/CD-RWを使用している。 入力切換が正しく選択されていない。	接続のしかた(**P.10-12**)をご覧になって正しく接続してください。 ファイナライズしていないCD-R/CD-RWを使用してください。 接続している端子にあわせて入力を切り換えてください。
録音すると音が歪む	接続が正しくされていない。 テレビからの影響を受けている。 ディスクが破損しているか割れている。 録音レベルが高すぎる。 ディスクが極端に汚れている。	接続のしかた(**P.10-12**)に従って正しく接続をしてください。 テレビの電源を切るか、またはテレビから本機を離してください。 他のディスクを使ってください。 録音レベルを下げてください **P.28, 48**)。 それでも歪みが解消されないときは、外部機器(アナログ出力)のレベルが極端に高い場合です。 外部機器の出力レベルを下げてください。 ディスクの汚れを拭き取ってください(**P.15**)。
リモコン操作ができない。	リモコンの電池が消耗している。 リモコンと本機の間に障害物がある。 リモコン操作範囲の外で操作している。	リモコンの電池をすべて新しいものと交換してください(**P.9**)。 障害物を取り除いてください。 リモコンの操作範囲内で操作してください(**P.9**)。
録音したCD-Rが他のCDプレーヤーで演奏できない。	ファイナライズ処理をしていない。 ピックアップレンズの汚れ等により、演奏するCDプレーヤーの再生能力が低下している。	ファイナライズ処理を行なってください(**P.15, 30**)。 別のCDプレーヤーで演奏できるか確認してください。演奏できる場合には、CDプレーヤー側の点検を行ってください。
録音したCD-RWが他のCDプレーヤーで演奏できない。	ファイナライズ処理をしていない。 CDプレーヤーがCD-RW に対応していない	ファイナライズ処理を行なってください(**P.15, 30**)。 CDプレーヤーの取扱説明書をご覧になり、CD-RWに対応しているか確認してください。対応していなければ演奏することはできません。

故障？ちょっと調べてください

症　状	原　因	対　応
音が出ない。	電源コードがはずれている。 すべてのコードが正しく接続されていない。	電源コードを正しく接続してください(**P.12**)。 接続のしかたをご覧になって正しく接続をしてください(**P.10-12**)。
演奏/一時停止ボタン(▶/II)を押しても演奏が始まらない。あるいはディスクが出てきてしまう	ディスクの裏表を逆に入れている。 ディスクに汚れやくもりなどがある。 ディスクに大きなキズやソリなどがある。 NEW DISCである(録音されていない)。	ディスクのレーベル面(印刷のある面)を上にし、正しく入れてください(**P.16-17**)。 ディスクをクリーニングしてください(**P.15**)。 ディスクを交換してください。 ディスクを交換してください。
ディスクトレイを閉めても自動的に開いてしまう	ディスクが正しく入っていない。 2枚以上のディスクを重ねて入れている。	ディスクを正しく入れてください(**P.16-17**)。 ディスクを取り出して、もう一度演奏したいディスクを1枚だけディスクトレイに入れてください。
"E 1"が表示される。	3枚チェンジャー側のディスクがディスクトレイに正しく入っていない。	ディスクを正しく入れ直す、または異物がディスクやディスクトレイに付着していてないか確認する。
"E 2"が表示される。	3枚チェンジャー側の機構部の動作エラー。	ディスクトレイに異物が入っていないか確認する

- テレビを近くに設置すると、映像の乱れが生じることがあります。テレビで室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは屋外アンテナを使用するかテレビを離して設置してください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

シンクロ録音が正しく動作しないとき

下記の方法でもう一度確認してください。

1. **外部接続している機器の演奏を録音したい位置で一時停止させる**

2. **もう一度シンクロ録音の設定をする(P.50-51)**

音飛びを防ぐ機能がついている機器(ポータブル CD プレーヤーなど)から録音するときは、その機能のスイッチを"切"にしてください。

3. **本機の"SYNCHRO"インジケーターが点滅したら、外部接続している機器の演奏を始める**

上記の方法でもシンクロ録音が正しく動作しないときは、「*マニュアル録音のしかた* (**P.52**)」をご覧になり、手動で録音してください。
デジタルシンクロ録音は、外部接続している機器のデジタル出力の中に含まれるサブコード信号を利用してシンクロ録音します。一部の CD プレーヤーや MD レコーダーなどでは、デジタル入力のシンクロ録音が正しく動作しないことがあります。

注意

◆ **デジタル信号が遮断されたとき**

DAT、DCC、または衛星放送などからのデジタル信号のサンプリング周波数が切り換わったときは、一瞬無音が記録されますが録音は継続されます。
衛星放送の信号が途切れた、デジタル信号が途切れた、または演奏している機器の電源が切れたなどが起こったときでも、約5秒以内にデジタル信号が再度入力されれば、録音は継続されます。ただし、遮断されていた部分は無音となります。5秒以上デジタル信号が入力されないときは録音が一時停止して、表示部に"**D.IN UNLOCK**"と表示されます。

◆ **DAT、DCCからデジタル録音するとき**

一般に、DAT、DCCのオートID機能を使用して作成したテープは、スタートIDが音よりわずかに遅れて記録されています。本機では、DAT 、またはDCCからデジタル録音するときに、このスタートIDによって曲の切り換わりを検知しているため、デジタルシンクロ録音、またはマニュアルデジタル録音で曲番号の自動更新を使用したときに、下記のような不具合を生じることがあります。

- 録音開始時、曲の頭が欠ける。
- 録音中、曲の頭よりわずかに遅れて曲番号が更新される。
- 録音終了時、次の曲の頭が録音される。

これを防ぐためにDAT、DCCテープのスタートIDは、マニュアル操作で再入力することをおすすめします。また、不要なスタートIDは削除しておいてください。
DAT、DCC の操作方法については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

3枚CDチェンジャーでのCD-R/CD-RWの演奏について

- 本機の3枚CDチェンジャーでは、ファイナライズ処理*をしていないCD-R/CD-RWを演奏させることができます(記録時間の短いCD-R/CD-RWは演奏できないこともあります)。
- CD-R/CD-RWは、演奏を開始するまでに多少時間がかかります。
- ファイナライズ処理をしていないCD-RWを正常に演奏できない(消去したはずの音声が演奏されるなど)ことがあります。このような場合は、ファイナライズ処理をしてから演奏してください。
- ファイナライズ処理をしていないCD-R/CD-RWは停止中、**「ーー　ーー:ーー」**と表示されます。演奏中は通常の表示と同じですが、**ディスプレイ(DISPLAY)ボタン**を押して表示を切り換えることはできません。

* ファイナライズ処理とは....
ファイナライズとは、録音を終了したCD-R/CD-RWを一般のCDプレーヤーで演奏できるようにするための最終処理のことです(**P.15**)。

本機を持ち運ぶ前に

本機を持ち運ぶ前に、下記の操作を必ず行ってください。

1. **本機に入っているディスクをすべて取り出して(P.16-17)、ディスクトレイを閉める**

右記のディスク番号表示が消えるまで待ちます(約1分かかります)。

DISC 1
DISC 2
DISC 3

2. **CDレコーダー側の停止ボタン(■)を押したまま、演奏モードボタン(PLAY MODE)を押す**

3. **"OK!"と表示がでたら電源ボタンを押して電源をオフにする**

- 電源プラグをコンセントから抜きます。
- "OK!"と表示中に他のボタンを押すと"OK!"が消えます。手順2からやり直してください。

取り扱い上の注意

■録音／再生中は本機を絶対動かさない

録音／再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つけたり録音できなくなる恐れがあります。

■設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

■次のような場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ほこりの多い所
- 油煙、蒸気、熱などがあたる所（台所など）

■熱を受けないように

アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。

■重いものをのせない

本機の上に重いもの（テレビやアンプなど）をのせないでください。

■密閉したラックなどに収納すると、温度が上昇し、ディスクを傷めることがあります。

日ごろのお手入れ

CD レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときはアフターサービスの項をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるものあるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞った後、汚れを拭きとり、その後乾いた布で拭いてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には1時間ほど放置するか徐々に室温を上げてから使用してください。

仕様

一般

型式 ..... コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
使用ディスク .... CD、CD-R、CD-RW
電源電圧 .... AC100 V、50/60 Hz
消費電力（電気用品取締法）............................ 14 W
動作温度 .... +5˚C～+35˚C
外形寸法 ..... 420（幅）×128（高さ）×380（奥行）mm
本体質量 .... 5.9 kg

オーディオ部

周波数特性 .... 2 Hz～20 kHz
再生 S/N .... 112 dB(EIAJ)
再生ダイナミックレンジ .... 98 dB(EIAJ)
再生歪率 .... 0.0017 %(EIAJ)
再生チャンネルセパレーション .... 98 dB(EIAJ)
録音 S/N .... 92 dB
録音ダイナミックレンジ .... 92 dB
録音歪率 .... 0.004 %
出力電圧 .... 2 V
ワウ・フラッター
.... 測定限界(±0.001 %W.PEAK) 以下(EIAJ)
チャンネル数 .... 2 チャンネル（ステレオ）
デジタル出力
　同軸出力：0.5 Vp-p ±20 %(75 Ω)
　光出力：–15 dBm ～–21 dBm(波長660nm)
　周波数偏差：レベル 2(標準モード)

入力端子

光デジタル入力端子 1
同軸デジタル入力端子 1
ライン入力端子 1

出力端子

光デジタル出力端子 1
同軸デジタル出力端子 1
ライン出力端子 1
SR コントロール入力端子 1

付属品

保証書 1
ご相談窓口・修理窓口のご案内 1
取扱説明書 1
CD-R 操作入門編 1
安全上のご注意 1
電源コード 1
オーディオコード 2
光デジタルケーブル 1
リモートコントロールユニット（リモコン）.......... 1
単3形乾電池（R6P）.. 2

●仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

＊録音の仕様値はライン入力時（アナログ）

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

索引

付録

保証とアフターサービス

■保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間はご購入日から１年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理に関するご質問、ご相談は

お買上げの販売店または、お近くのパイオニアサービスステーションをご利用ください。
所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

■修理を依頼されるとき

５９〜６０ページにしたがって調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店、またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

■保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

連絡していただきたい内容
- ご住所
- ご名前
- 電話番号
- 製品名：コンパクトディスクレコーダー
- 型番：PDR-WD70
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問のご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物、公園など）

■保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

本機の接続、操作、技術相談に関するお問い合わせは(全国共通フリーコール)

テクニカルサポートセンター　**0088-22-8102**

（ただし、土、日、祝、弊社休日を除く 9:30～12:00、13:00～17:00）

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。

お客様ご相談窓口(全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

● 家庭用ｵｰﾃﾞｨｵ／ﾋﾞｼﾞｭｱﾙ製品のお問い合わせ窓口　**0070-800-8181-22**

● カタログのご請求窓口　**0070-800-8181-33**

＜ご注意＞ ● ＰＨＳ、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。予めご了承ください。
● 修理に関しては別添の『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご覧ください。

※ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内

http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか？
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または、お近くのパイオニアサービスステーションに点検（有料）をご依頼ください。

ご 注 意： 本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

著作権について

● 放送やCD、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
● 従って、それらから録音したディスクを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
● 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

社団法人　日本音楽著作権協会（JASRAC・音権協）

支部		電話番号	
本　　部	TEL	03(3481)2121	(大代表)
北海道支部	TEL	011(221)5088	(代表)
盛岡支部	TEL	019(652)3201	(代表)
仙台支部	TEL	022(264)2266	(代表)
長野支部	TEL	026(225)7111	(代表)
大宮支部	TEL	048(643)5461	(代表)
上野支部	TEL	03(3832)1033	(代表)
東京支部	TEL	03(3562)4455	(代表)
西東京支部	TEL	03(3232)8301	(代表)
東京ｲﾍﾞﾝﾄ・ｺﾝｻｰﾄ支部	TEL	03(5286)1671	(代表)
立川支部	TEL	0425(29)1500	(代表)
横浜支部	TEL	045(662)6551	(代表)
静岡支部	TEL	054(254)2621	(代表)
中部支部	TEL	052(583)7590	(代表)
北陸支部	TEL	076(221)3602	(代表)
京都支部	TEL	075(251)0134	(代表)
大阪支部	TEL	06(6244)0351	(代表)
大阪北支部	TEL	06(6244)7077	(代表)
神戸支部	TEL	078(322)0561	(代表)
中国支部	TEL	082(249)6362	(代表)
四国支部	TEL	0878(21)9191	(代表)
九州支部	TEL	092(441)2285	(代表)
鹿児島支部	TEL	099(224)6211	(代表)
那覇支部	TEL	098(863)1228	(代表)

（2000年6月現在）

パイオニア株式会社　〒 153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<PRA1112-A>
<00E00ZF0P01>